

令和7年度版

札幌の観光

TOURISM OF SAPPORO

札幌市

SAPPORO

目 次

第1章 札幌市の観光への取組

1 令和7年度観光・MICE推進部の事業概要	1
2 令和7年度経済観光局観光・MICE推進部の機構	10
3 令和7年度予算の概要	11
4 トピックス	13

第2章 観光客の入込状況

1 2024年度の動向	14
2 観光客の入込状況	15

第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要	23
2 宿泊施設の状況	24
3 宿泊施設利用状況	25
4 外国人の宿泊状況	27
5 修学旅行生の宿泊状況	33
6 定山渓地域の宿泊状況	35
7 民泊利用状況	38

第4章 総観光消費額

1 2024年度の状況	42
2 総観光消費額の推移	42

第5章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況	43
2 札幌でのMICE開催状況	53

第6章 参考資料

1 観光施設の利用状況	55
2 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・ 北海道さっぽろ観光案内所利用者数	57
3 気象概況	58
4 札幌観光のあゆみ	59
5 令和6年度イベントカレンダー	63

第1章 札幌市の観光への取組

1 令和7年度観光・MICE推進部の事業概要

各事業の詳細については、【】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

札幌市経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課

電話 011-211-2376

○観光客の受入環境整備事業【受入担当】

(1) 観光案内所の運営管理

観光客に各種観光情報を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、一部の案内所は国際観光振興機構（日本政府観光局：JNTO）により「外国人観光案内所」として認定されています。

〔案内所一覧〕

名 称	概 要
北海道さっぽろ観光案内所 (外国人観光案内所 カテゴリー2 [※])	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ（4月下旬～10月） 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30 電話番号：なし
定山渓観光案内所 (外国人観光案内所 カテゴリー2 [※])	所在地：南区定山渓温泉東3丁目 定休日：年末年始（12/29～1/3） 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6丁目 開設期間：雪まつり会期のみ 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～21:00 電話番号：なし

※ カテゴリー2：少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐、またはビデオ通話による案内が常時可能。広域の案内を提供。

(2) 観光マップの制作

観光客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した観光マップを発行し、市内各案内所等で配布しています。日本語のほか、英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語版があります。

(3) 観光案内板の管理

観光客の利便性を図るために、170基の観光案内板と、6基のデジタルサイネージによる観光案内板を設置しています（令和7年10月現在）。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語の4言語で、ピクトグラム（絵文字表記）などユニークなデザインの採用にも努めています。デジタルサイネージによる観光案内板には非常用電源を備えており、非常時にも途切れることなく情報発信を行います。

(4) 都心部観光バス駐車場の設置

観光バスによる路上駐車を減らすため、観光バス専用の駐車場を設置しています。

＜都心部の観光バス駐車場の詳細＞

名称	大通東2丁目観光バス駐車場	南8条西2丁目観光バス駐車場
所在	中央区大通東2丁目	中央区南8条西2丁目
利用料金	30分ごとに600円 ※24時間最大5,000円 ※夜間(18時～8時)は最大4,000円	30分ごとに600円 ※24時間最大5,000円 ※夜間(19時～8時)は最大4,000円
収容台数	26台	最大30台
利用時間	24時間	【10台分】24時間 【20台分】19時～8時

その他、観光バスの路上駐停車対策として、都心部の巡回整理業務を実施し、駐車場の利用を促しています。

(5) 公衆無線LAN環境整備

外国人観光客のニーズが高い地下鉄主要16駅や大通公園、円山動物園、定山渓温泉エリア等のほか、主要なスポーツ施設（大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）、どうぎんカーリングスタジアム、大倉山ジャンプ競技場等）において、公衆無線LAN（Sapporo City Wi-Fi）を運用しています。

(6) 北海道・さっぽろ観光情報プラザ（どさんこ旅サロン）

首都圏での観光情報の発信の場として、北海道と札幌市が連携し、札幌市東京事務所内において北海道・札幌市の観光PRを行っています。

○おもてなし推進事業【受入担当】

(1) 観光ボランティアの運営

大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり観光案内所で観光案内を行う市民ボランティアの活動を支援しています。

登録数は172名であり、活動は交代制となっています。（令和7年10月現在）

(2) 札幌おもてなし委員会

まち全体のおもてなし向上を目的として、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して「札幌おもてなし委員会」を運営しています。

員会」を設置しています。大規模イベント等でのおもてなしや観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。
(事務局：札幌商工会議所)

○観光情報の発信【受入担当】

(1) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理

札幌の公式観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、交通機関や観光施設等の基本情報に加え、季節のイベントや新たな札幌の魅力を紹介する特集記事など、バラエティに富んだ観光情報を提供しています。日本語のほか、英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語・インドネシア語版があります。

➢ ようこそさっぽろ <https://www.sapporo.travel>

(2) 観光情報共有メーリングリストの運営管理

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や各種イベント情報等の観光関連情報について、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(3) 観光写真ライブラリー

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページ上での無料ダウンロードサービスを行っています。〔令和7年10月現在 5,106枚保有〕

➢ 観光写真ライブラリー <https://www.sapporo.travel/sightseeing.photolibrary/>

(4) X（エックス、旧Twitter）

Xにおいてイベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。〔令和7年10月現在のフォロワー数 約58,000人〕

➢ 札幌市観光・MICE推進部@sapporo_tourism (Xアカウント)
https://twitter.com/sapporo_tourism

(5) Facebook（フェイスブック）

Facebookにおいて、日本語版と英語版で写真を交えて札幌市内及び近郊の観光情報等の発信を行っています。

➢ ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内（日本語版）
<https://www.facebook.com/sapporocity>
➢ Welcome to Sapporo（英語版）
<https://www.facebook.com/WelcomeSapporo>

(6) Instagram（インスタグラム）

Instagramにおいて、札幌市内及び近郊の観光情報等の発信を行っています。

➢ welcomesapporo（日本語版）
<https://www.instagram.com/welcomesapporo/>

○各種まつりの連絡調整【事業調整担当】　※各まつりの詳細は第5章を参照

市内で開催される各種まつりの事務局等との連絡・調整、開催経費の支援等を行っています。

(1) さっぽろ雪まつり

昭和25年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントとして約200基の雪氷像やチューブスライダーなどのスノーアクティビティが楽しめます。令和7年度で76回を迎えます。

(2) さっぽろライラックまつり

昭和34年に始まったこのまつりは、ライラックの開花時期に大通公園、川下公園で開催されます。令和7年度で67回を迎えました。

(3) YOSAKOIソーラン祭り

平成4年に始まったこの祭りは鳴子を手にした色鮮やかな衣装の踊り子たちが市内各所を舞台に演舞する、札幌の初夏を彩る一大イベントです。令和7年度で34回を迎えました。

(4) さっぽろ夏まつり

昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。令和7年度で72回を迎えました。イベントの中心となっているのが福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンで、都市公園で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的に珍しいです。

(5) さっぽろオータムフェスト

平成20年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。令和7年度で18回目を迎えました。

(6) さっぽろ菊まつり

菊作り愛好者が増える中、昭和38年に小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。令和7年度で63回を迎えます。

(7) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和56年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。令和7年度で45回を迎えます。会場は大通、駅前通、南一条通に加え、平成29年度から、札幌市北3条広場(アカプラ)、札幌駅南口駅前広場の合計5会場となりました。

(8) ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

平成14年度にミュンヘン市との姉妹都市提携30周年を記念して開催。会場は大通公園2丁目で、本場ドイツのクリスマス市にちなんだ物販や飲食が楽しめます。令和7年度で24回を迎えます。

(9) スマイルリンクさっぽろ

令和4年度に札幌の新たな冬のイベントとして開催。都心にスケートリンクを設置し、一般開放のほかスケートショーや子ども向けの体験教室などが開催されます。令和7年度で4回を迎えます。

○付加価値の高い観光コンテンツ事業【コンテンツ担当】

札幌ならではの観光資源を活用した魅力的なコンテンツ造成への支援を行います。また、札幌の夜景・夜間観光を推進するためのプロモーション等を実施します。

○スノーリゾート推進事業【コンテンツ担当】

都市型スノーリゾートとしての世界的ブランド確立に向けた、市内スキー場の魅力アップや冬季観光コンテンツ造成に対する補助及び市内スキー場が連携した事業への支援を行います。

- SNOW SAPPORO（日本語、英語、繁体字）

<https://snowsapporo.com/>

○定山渓地区の観光振興【振興担当】

平成27年3月に策定した「定山渓観光魅力アップ構想」に基づき、定山渓地区のソフト事業の充実や必要なハード整備に向けた取組を行います。

また、次期定山渓観光魅力アップ構想の策定に向けた検討を進めています。

- 定山渓観光魅力アップ構想

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/jozankei/index.html>

(1) 定山渓観光客誘致関連

地域が実施するイベントやプロモーションなど来客誘致強化や受入体制の充実を目的とした事業への支援を行います。

(2) 定山渓観光魅力アップ修景支援事業

定山渓のにぎわい創出に向け、平成29年6月に策定した「定山渓地区景観まちづくり指針」に基づき、定山渓エリアの特色をいかした魅力的な景観を形成するための支援を行います。

(3) 定山渓地区アクティビティコンテンツ推進事業

定山渓地区の様々な自然を活用したアクティビティコンテンツの新規造成やレベルアップ事業への支援を行います。

(4) 定山渓地区周辺環境整備関連

定山渓二見公園の隣接地に足湯施設を新設します。※令和6年12月開設

○国内外へ向けた観光プロモーション事業【誘致担当】

(1) 国内プロモーション事業

道内外からの来札宿泊者や観光リピーターの増加、宿泊数や観光消費額の増加を図るため、効果的なプロモーションに取り組みます。

また、教育旅行誘致の強化等に取り組んでいます。

ア 観光客誘致プロモーション事業

道内外からの観光客を誘致するため、旬の観光情報や、リピーターでも楽しめる札幌の新たな魅力や過ごし方などを、観光閑散期である秋から春先を中心に、WEB等で発信します。

イ 教育旅行誘致事業

教育旅行先としての札幌市の付加価値を高め、より多くの教育旅行獲得につなげるため、教育旅行専用のWEBサイトを拡充し、各種ツールとともにプロモーションを実

施します。

(2) 国際プロモーション事業

外国人観光客の早期回復と、消費単価の向上・滞在日数の増加を目指し、各市場の特性に応じた札幌の魅力の発信を行います。

ア WEB等によるプロモーション

札幌への興味関心の向上・来札意欲の向上を図るため、WEB・SNSを活用し、東アジア・東南アジア・欧米豪に向け、市場に応じた情報発信を行います。

➢ Visit Sapporo (英語、その他6言語)

<https://visit.sapporo.travel/>

イ 都市型スノーリゾートとしてのブランド化推進に向けたプロモーション

札幌の都市型スノーリゾートとしてのブランドイメージの確立を図るため、欧米豪及びアジア市場に対し、メディア・インフルエンサーの招請等、市場の特性に応じた手法を用いたプロモーションを展開します。

ウ アジア向けプロモーション

東アジア・東南アジアからの観光客の拡大やインド等の新規市場の開拓に向け、旅行博・商談会の出展等によるプロモーションを展開します。

エ 欧米豪向けプロモーション

観光客が増加しつつある欧米豪からさらなる誘客を図るため、オンライン旅行会社(OTA)を活用した情報発信、メディア・インフルエンサー招請等、認知拡大に向けたプロモーションを展開します。

(3) アドベンチャーツーリズム推進事業

アドベンチャートラベル(AT)は、「アクティビティ」「自然」「異文化」の3つのうち2つ以上からなる旅行形態であり、欧米を中心に人気が高く、通常の旅行よりも消費単価が高いため、札幌市では、欧米豪からの誘客の増加、消費単価の向上・滞在日数の増加を目指し、札幌・北海道でのAT等で活躍できるガイドの育成を図るための取組を行っています。

ア アドベンチャートラベル商品造成・販路拡大支事業

AT等の高付加価値旅行のガイドツアーや活躍が期待できる英語ガイドの育成・増加及びガイドと関係人材のコネクション形成を図るため、ガイド向け研修、新規ツアーの造成及びモニターツアーの実施等といった各種取組を実施します。

○北海道内の魅力を活かした広域連携による周遊、滞在の促進【誘致担当】

札幌市周辺自治体における観光資源の組み合わせによる、一体的なプロモーションを通じた滞在型観光の促進や、道内中核都市等において、北海道を面としてとらえた旅行スタイルの推進によって、観光客誘客・周遊の促進を図るなど、北海道の広域的な魅力を活かすために道内自治体間で連携し、道外または海外を対象にした取組を行っています。

(1) 道内中核都市観光連携協議会

北海道内の中核都市（旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市）による「道内中核都市観光連携協議会」を平成23年4月に設立しました。令和7年度は、SNSを活用したキャンペーンや、WEBサイトでの情報発信、現地イベントへの出展等によりダイナミックな北海道旅行の楽しみ方をプロモーションします。

(2) さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会

人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるため、関係11市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町）とともに、「さっぽろ連携中枢都市圏」を形成しました。

このうちの観光振興に関する取り組みとして、圏域における観光客を増加させ、圏域全体の観光消費を増大させるため、圏域内市町村で構成する「さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会」を令和元年8月に設立しました。令和7年度は、台湾市場をターゲットに、連携自治体の着地型旅行商品造成・販売や、現地旅行社等を活用した情報発信、現地旅行博への出展等を実施します。

○MICE誘致・支援事業【MICE推進担当】

「MICE」とは、企業等の会議（Meeting）、報奨旅行（Incentive Travel）、国際会議・学術会議・学会等（Convention）、展示会・イベント（Exhibition/Event）の頭文字を取ったビジネスイベント等の総称として用いられ、多くの集客交流が見込まれるため高い経済効果や国際的なブランド力の向上に繋がるものと期待されています。

札幌市では、公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューローがワンストップサービス機能を担いながら、MICE見本市への出展、キーパーソンの招請などの誘致プロモーション、MICE開催のコーディネートや受入の支援、首都圏での情報収集と誘致活動を行っているほか、コンベンションの運営費用にかかる助成金制度やインセンティブツアーへのサポート制度を運用しています。

○PRツールの制作、配布・貸出【受入担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) 観光PRパンフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRパンフレットとポスターを制作しています。制作したパンフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出しています。

(2) 観光PR用DVD・映像ライブラリー素材

本市では、観光PR用のDVDを制作しており、様々なPRの機会をとらえて放映や

配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部をライブラリーとし、DVDとともに広く貸出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「The Capital Of The North」	英語	DVD	初版：令和2年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル	DVD	初版：平成23年度 改訂：平成24年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度720×480

- 札幌市ホームページ「札幌観光PR用映像及び映像ライブラリー素材について」
<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/eizo/eizo.html>
- ようこそさっぽろ「札幌観光映像」のページ
<https://www.sapporo.travel/learn/movie/>

○来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【推進】

(1) 来札観光客数、外国人宿泊者数の調査

来札観光客の入込数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」等で紹介しています。

- 観光統計データ
<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、新千歳空港において、札幌市を訪問した日本人観光客及び外国人観光客を対象に、属性や来札目的、満足度などに関するアンケート調査を実施しています。

- 計画・調査レポート
<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

○札幌市観光まちづくりプランの策定【企画調整担当】

2023年度に札幌市の観光に関する取組の方向性を示す「第2次札幌市観光まちづくりプラン」を策定しました。プランに掲げた2032年度の総観光消費額1兆円という目標に向け、各種の観光振興施策を実施するとともに、持続的に札幌の観光を発展させていくための体制の整備や財源の確保に向けた具体的な検討を進めています。

- 札幌市ホームページ（第2次札幌市観光まちづくりプラン（2023-2032））
<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/plan/plan2023-2032.html>

○DMO設立・稼働開始に向けた検討【戦略担当、プロジェクト担当】

民間が持つ機動性や専門性を生かしながら、戦略的かつ地域一体となった観光地経営を推進していく体制を確立するためのDMO設立及び令和8年度からの取組拡大に向け、DMOを担う一般社団法人札幌観光協会と共に、観光地全体として中期的に目指すビジョンや具体的な戦略をまとめた「観光地経営戦略」の策定等を行います。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【施設整備担当】

国際会議や各種学会等の大規模な会議に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌6条1丁目
電話番号	011-817-1010
開設年月	平成15年6月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階／20,309.90m ²
開館時間	9:00～22:00（休館日 12月29日から翌年1月3日）
管理運営	SORA-SCC共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式2,500人収容）、特別会議室（シアター形式700人収容） 中ホール（シアター形式600人収容）、小ホール（固定席193人収容） 会議室（15室）、屋外展示場、駐車場（470台収容）
敷地面積	41,018.51m ²
(URL)	https://www.sora-scc.jp/

○「札幌国際ユースホステル」の運営管理【推進】

低額な料金で、安全で快適な宿泊を提供する施設として、来札観光客にも利用可能な札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号	011-825-3120
開設年月	平成12年4月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建／1,967.64m ²
定員／利用期間	120人／通年
管理運営	一般財団法人日本ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等	宿泊3,800円（税込）（中学生以下500円引き、4歳未満無料） 食事※（朝食880円～1,650円、昼食770円～1,650円、夕食1,540円～3,300円） ※事前申し込みをした団体利用者（10名以上）に提供
敷地面積	918.93m ²
(URL)	http://www.jyh.gr.jp/sapporo/

2 令和7年度経済観光局観光・MICE推進部の機構

※()内は職員数
(令和7年10月1日現在)

※観光・MICE担当局長所管

部長	課長	係長	係員
観光・MICE 推進部長 (1名)	観光・MICE 推進課長 (1名)	推進係長(1名) 企画調整担当係長(1名) 振興担当係長(1名)	3名 1名
	MICE施設整備 担当課長 (1名)	MICE推進担当係長(1名) 施設整備担当係長(1名)	1名 1名
	定山渓地区担当 課長 (南区定山渓出張所 長兼務)(1名)	定山渓地区担当係長 (南区定山渓出張所次長兼務) (1名)	
観光地域づくり 担当部長 (1名)	観光地域づくり 担当課長 (1名)	事業調整担当係長(2名) 戦略担当係長(1名) コンテンツ担当係長(1名) 調整担当係長(1名)	1名 1名
	観光誘致・受入担当 課長 (1名)	誘致担当係長(1名) 受入担当係長(1名)	3名 3名
	プロジェクト担当 課長 (1名)	プロジェクト担当係長(2名)	
	戦略担当課長 (1名)		
2名	7名	15名	14名
合計職員数 38名			

上記職員のほか、国際交流員を含む会計年度任用職員を4名任用している。

3 令和7年度予算の概要

《令和7年度観光・MICE推進部 予算の概要》 予算総額 2,155,914千円（対前年度予算比1.4%の減）

○観光振興費

観光事業推進費：132,387千円
～事務経費、観光関連団体への補助～
観光案内所運営費：60,000千円
～札幌駅、大通公園等の観光案内所運営～
観光施設運営管理費：57,327千円
～観光関連施設等の維持管理～
付加価値の高い観光コンテンツ創出費：36,000千円
～札幌ならではの観光資源を活用した魅力的なコンテンツ造成への支援～
観光情報発信費：25,000千円
～観光サイト「ようこそさっぽろ」の運営～
観光統計調査費：14,400千円
～観光客入込数調査等の札幌観光に関する各種調査の実施～
定山渓地区魅力アップ費：200,000千円
～定山渓観光魅力アップ構想に基づく各種支援事業や周辺環境整備の実施～
スノーリゾート推進費：197,000千円
～都市型スノーリゾートとしての世界的ブランド確立に向けた事業の実施～
観光関連施設の災害対策支援費：15,000千円
～市内宿泊施設の非常用自家発電設備整備に対する補助～
持続可能な観光推進費：1,000千円
～持続可能な観光の推進に向けた観光関連事業者等への研修の実施～
観光マネジメント強化費：63,000千円
～札幌におけるDMOの観光地経営戦略や事業計画の策定～

○観光イベント推進費

観光行事助成費：23,800千円
～ライラックまつり、YOSAKOIソーラン祭り、夏まつり、菊まつり～
さっぽろオータムフェスト事業費：33,000千円
～北海道・札幌の食をテーマにしたイベントの開催～
さっぽろホワイトイルミネーション事業費：112,000千円
～さっぽろホワイトイルミネーション、ミュンヘン・クリスマス市の開催～
さっぽろ雪まつり事業費：536,000千円
～さっぽろ雪まつりの開催、持続可能な雪まつりのあり方に関する調査・検討～
都心における冬のアクティビティ創出費：30,000千円
～都心部におけるスケートリンクの設置～

○集客交流促進費

国内観光振興費：38,000千円
～国内観光客及び教育旅行の誘致に係る事業の実施～
国際観光誘致費：100,000千円

～アジア及び欧米豪を中心とした海外からの観光客誘致に係る事業の実施～

おもてなし推進費：19,000千円

～観光客に対するおもてなしの推進に係る事業の実施～

広域連携観光振興費：22,000千円

～道内中核都市や道内市町村との連携等による周遊促進事業の実施～

観光客受入環境整備費：86,000千円

～観光バス対策や公衆無線LANの運用等～

アドベンチャーツーリズム推進費：6,000千円

～アドベンチャートラベルのガイド等の増加、販路拡大に向けた事業の実施

観光人材育成支援費：11,000千円

～大学と連携した観光専門人材の育成、宿泊業人材確保支援事業の実施～

宿泊施設バリアフリー化推進費：94,000千円

～市内宿泊施設のバリアフリー改修に対する補助等～

オーバーツーリズム対策推進費：10,000千円

～手ぶら観光の充実や交通利用の分散化、マナー啓発等の実証実験を実施～

○MICE推進費

MICE推進費：184,000千円

～MICE誘致に係る事業の実施～

観光閑散期の需要創出補助金：50,000千円

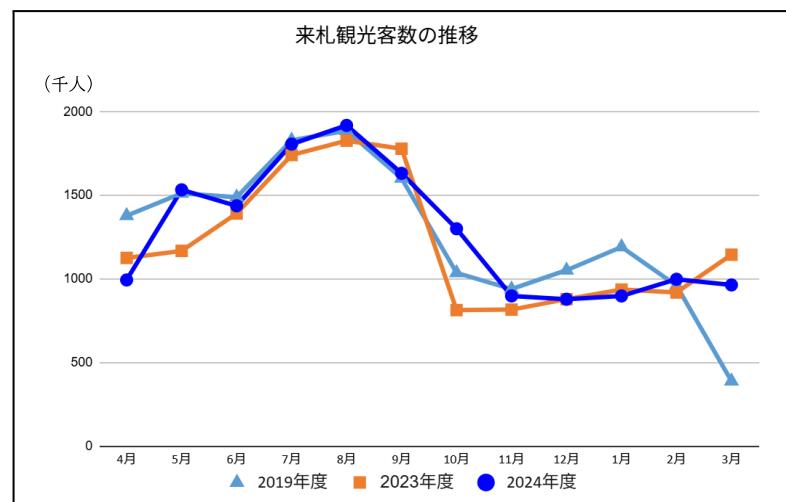
～観光閑散期に観光需要創出が見込まれるイベント開催事業者等への補助～

4 トピックス

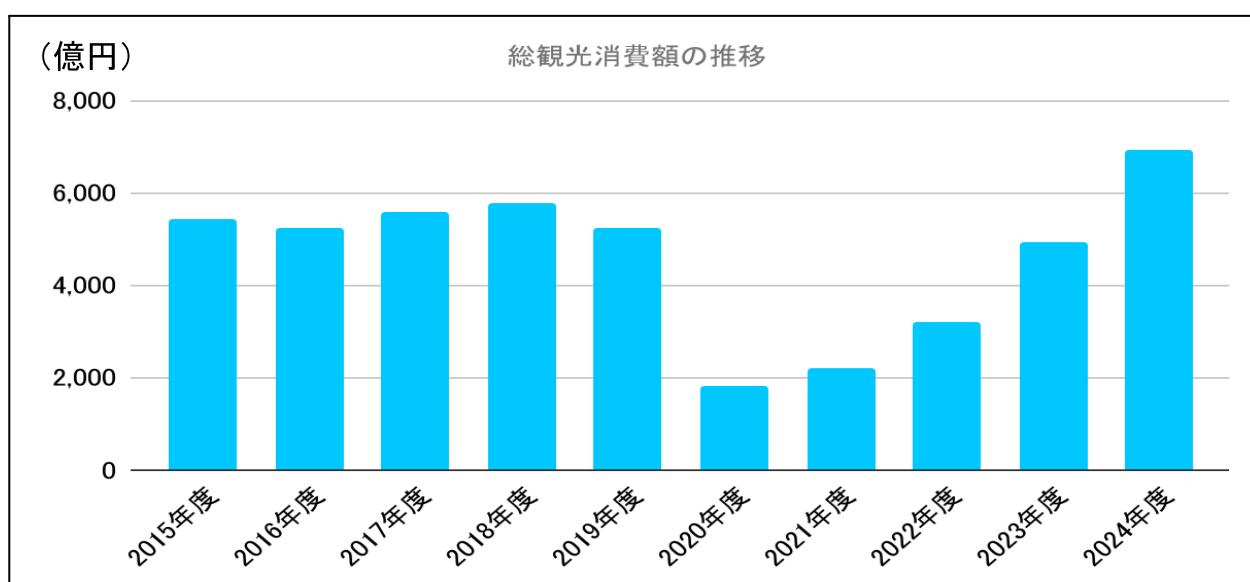
～来札観光客数はコロナ禍前とほぼ同水準まで回復し、観光消費額は過去最高を記録～

2024年度の来札観光客数は、コロナ禍からの需要回復や新千歳空港の直行便の増便などの影響で、中国や韓国をはじめとするアジアからの外国人宿泊者が増加し、前年度と比較して4.9%の増加となり、コロナ禍前の2019年度と比較してもほぼ同水準まで回復しました。

また、総観光消費額については、外国人宿泊者数の増加に加え、円安による消費喚起や物価上昇の影響もあり、観光消費額単価が上昇したこと、前年度比41.1%と大幅に増加し、過去最高を記録しました。これまで、消費単価の高い欧米豪へのプロモーションや、来札観光客の多い東アジアへの都市型スノーリゾートのプロモーションを実施してきたほか、滞在日数の延長につながる夜間観光や付加価値の高いコンテンツ造成に関する取組等を実施してきた効果が表れているものと考えています。



	2024年度	2023年度	2019年度		増減	増減率
			増減	増減率		
4月	994	1,126	▲132	▲11.7%	1,378	▲384 ▲27.9%
5月	1,533	1,168	366	31.3%	1,512	21 1.4%
6月	1,437	1,391	46	3.3%	1,489	▲52 ▲3.5%
7月	1,806	1,742	65	3.7%	1,830	▲24 ▲1.3%
8月	1,919	1,828	92	5.0%	1,887	32 1.7%
9月	1,632	1,779	▲147	▲8.3%	1,602	30 1.9%
10月	1,300	813	487	59.9%	1,036	264 25.5%
11月	898	816	82	10.0%	939	▲41 ▲4.4%
12月	878	879	▲1	▲0.1%	1,052	▲174 ▲16.6%
1月	897	936	▲38	▲4.1%	1,191	▲294 ▲24.7%
2月	998	918	80	8.7%	960	38 4.0%
3月	964	1,145	▲181	▲15.8%	388	576 148.4%
計	15,257	14,540	717	4.9%	15,264	▲7 ▲0.04%



なお、本ページ以降、各表中の数値は四捨五入しているため、それらの合計値が表中の合計値と一致しない場合があります。

第2章 観光客の入込状況

1 2024年度の動向

(1) 概況

2024年度に札幌を訪れた観光客は、約1,525万7千人となり、前年度の約1,454万と比較すると約71万7千人（前年度比4.9%）の増となりました。また、コロナ禍前である2019年度の約1,526万4千人と比較してもほぼ同水準まで回復しました。

<来札観光客数の算出方法について>

札幌市の観光客数は、北海道経済部観光局が策定した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、各交通機関（JR、航空機、貸切バス、路線バス、国道、高速道路）を利用した乗客数等に観光客率※などを乗じて算出しています。

また、2012年度、2017年度及び2024年度には、この観光客率の更新を行っているため、それぞれ前年度との単純比較を行うことはできません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年度～2023年度は、過去の来札観光客数に宿泊実績の増減率を乗じて推計しています。

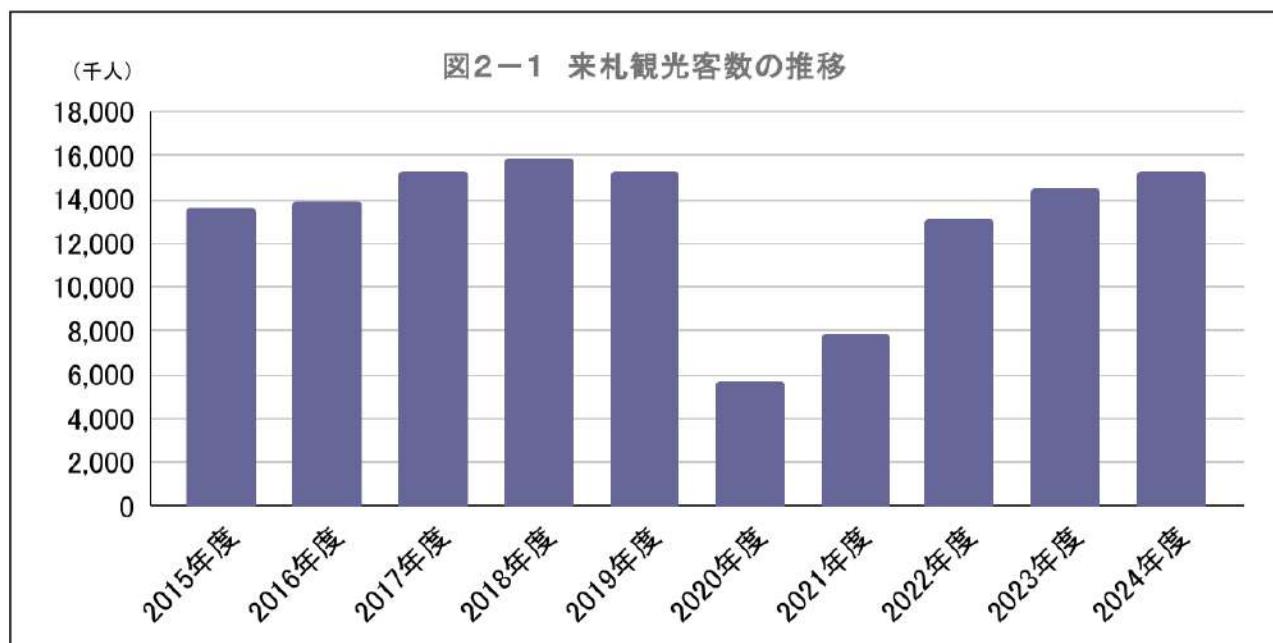
各数字は四捨五入のため、合計が一致しないことがあります。

※観光客率とは、各交通機関の乗客数に占める観光客（通勤・通学、ビジネスのみを目的とする訪問を除く）の割合のことです。観光客率の改定時には、同調査から算出される宿泊率（観光客のうち市内で宿泊する。

2 観光客の入込状況

(1) 来札観光客数の推移

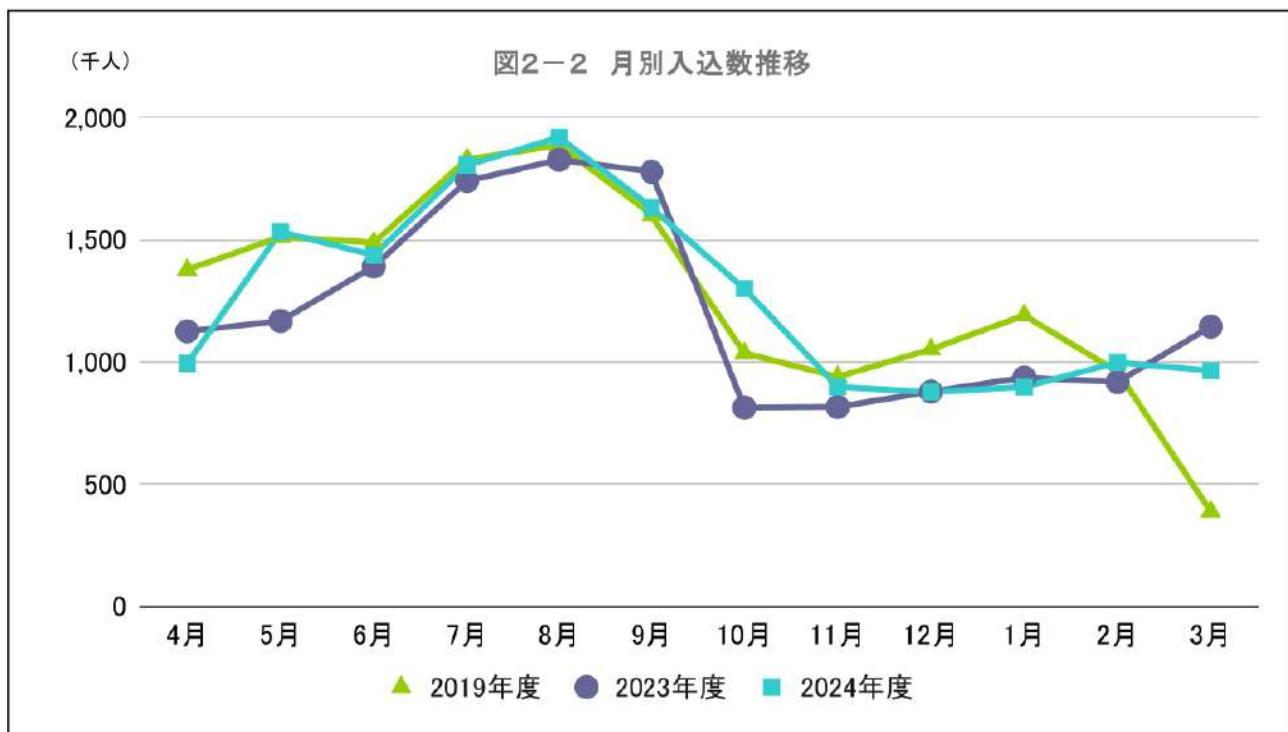
年 度	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
2015年度	13,653	1.8
2016年度	13,880	1.7
2017年度	15,271	10.0
2018年度	15,846	3.8
2019年度	15,264	▲ 3.7
2020年度	5,705	▲ 62.6
2021年度	7,893	38.4
2022年度	13,108	66.1
2023年度	14,540	10.9
2024年度	15,257	4.9



(2) 月別入込状況

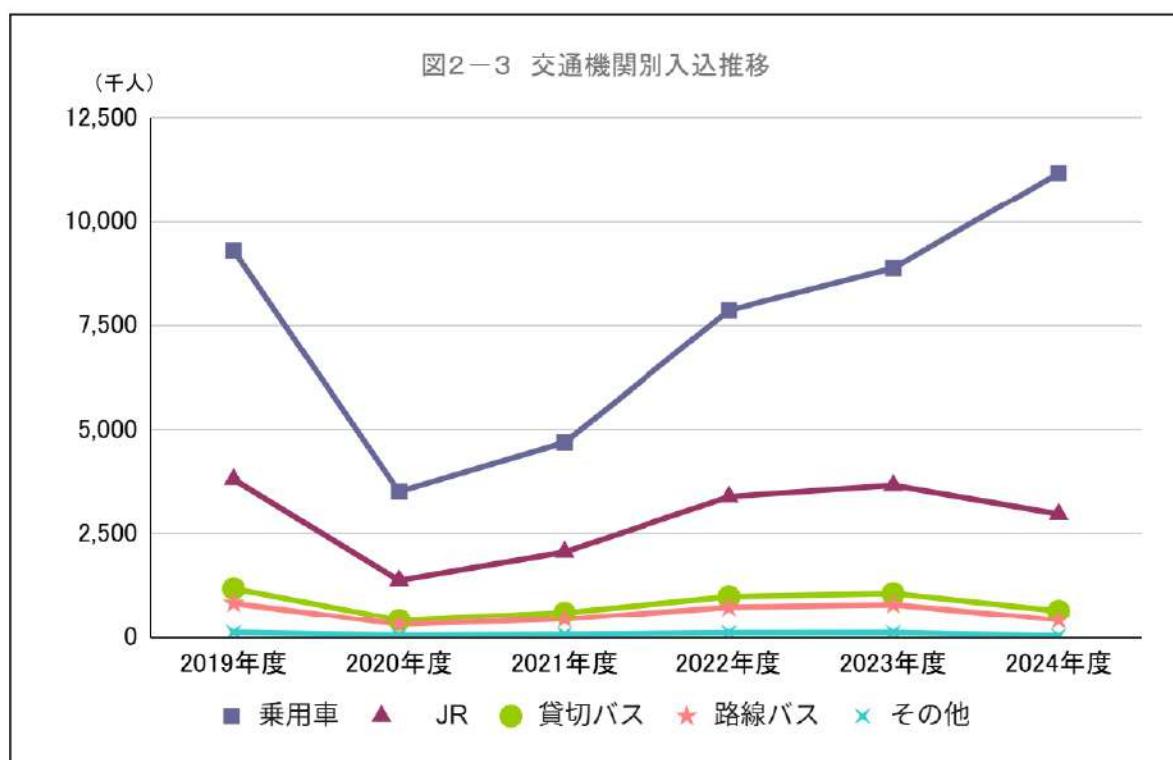
(単位：千人)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	15,264	1,378	1,512	1,489	1,830	1,887	1,602	1,036	939	1,052	1,191	960	388
2020年度	5,705	246	156	261	625	918	794	755	499	292	337	388	434
2021年度	7,893	570	387	361	774	803	629	652	752	962	848	549	606
2022年度	13,108	817	886	963	1,373	1,451	1,374	953	873	1,192	1,089	1,204	933
2023年度	14,540	1,126	1,168	1,391	1,742	1,828	1,779	813	816	879	936	918	1,145
2024年度	15,257	994	1,533	1,437	1,806	1,919	1,632	1,300	898	878	897	998	964
前年度比 (%)		4.9 ▲ 11.7	31.3	3.3	3.7	5.0 ▲ 8.3	59.9	10.0 ▲ 0.1	▲ 4.1	8.7 ▲ 15.8			



(3) 交通機関別入込状況

年 度	観光客数 (千人)					
	合 計	乗用車	J R	貸切バス	路線バス	その他
2019年度	15,264	9,296	3,814	1,194	842	118
2020年度	5,705	3,520	1,390	430	317	48
2021年度	7,893	4,698	2,072	603	450	70
2022年度	13,108	7,857	3,399	1,000	741	111
2023年度	14,540	8,869	3,672	1,079	806	114
2024年度	15,257	11,174	2,981	650	424	28
年 度	構 成 比 (%)					
	合 計	乗用車	J R	貸切バス	路線バス	その他
2019年度	100.0	60.9	25.0	7.8	5.5	0.8
2020年度	100.0	61.7	24.4	7.5	5.6	0.8
2021年度	100.0	59.5	26.3	7.6	5.7	0.9
2022年度	100.0	59.9	25.9	7.6	5.7	0.8
2023年度	100.0	61.0	25.3	7.4	5.5	0.8
2024年度	100.0	73.2	19.5	4.3	2.8	0.2
年 度	前年度比 (%)					
	合 計	乗用車	J R	貸切バス	路線バス	その他
2019年度	▲ 3.7	2.3	▲ 2.0	▲ 31.7	▲ 16.8	13.5
2020年度	▲ 62.6	▲ 62.1	▲ 63.6	▲ 64.0	▲ 62.4	▲ 59.3
2021年度	38.4	33.5	49.1	40.2	42.0	45.8
2022年度	66.1	67.2	64.0	65.8	64.7	58.6
2023年度	10.9	12.9	8.0	7.9	8.8	2.7
2024年度	4.9	26.0	▲ 18.8	▲ 39.8	▲ 47.4	▲ 75.4

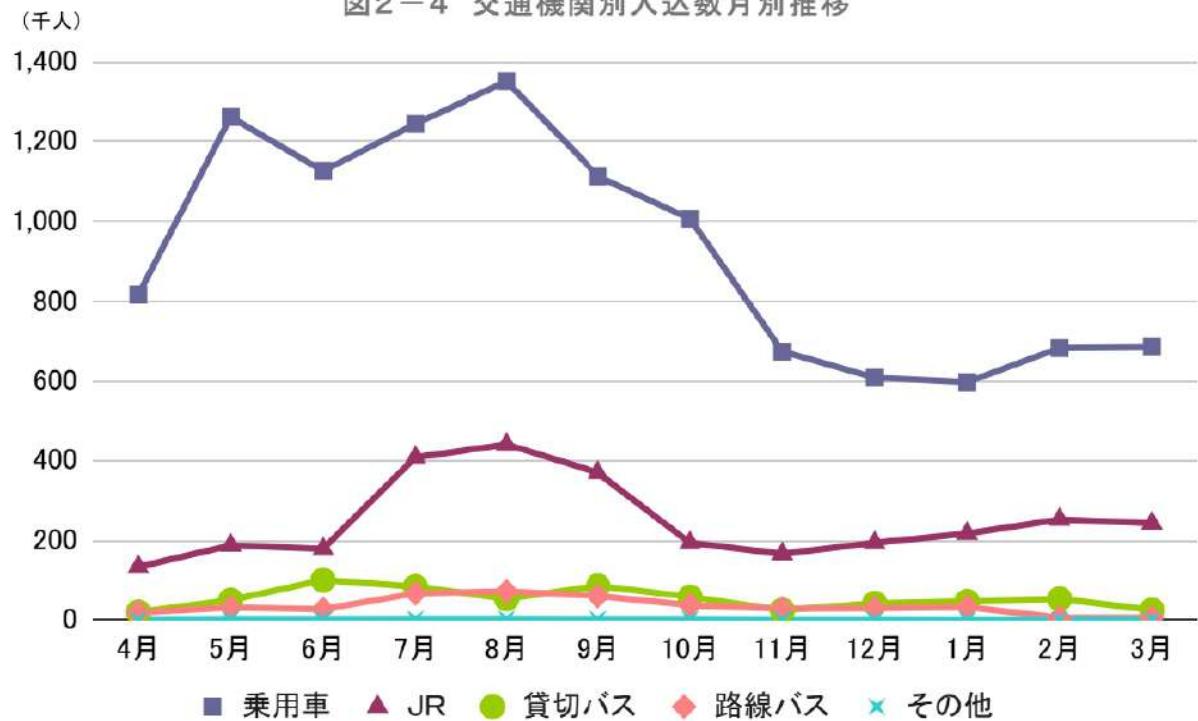


【交通機関別入込数・月別内訳】

(単位:千人)

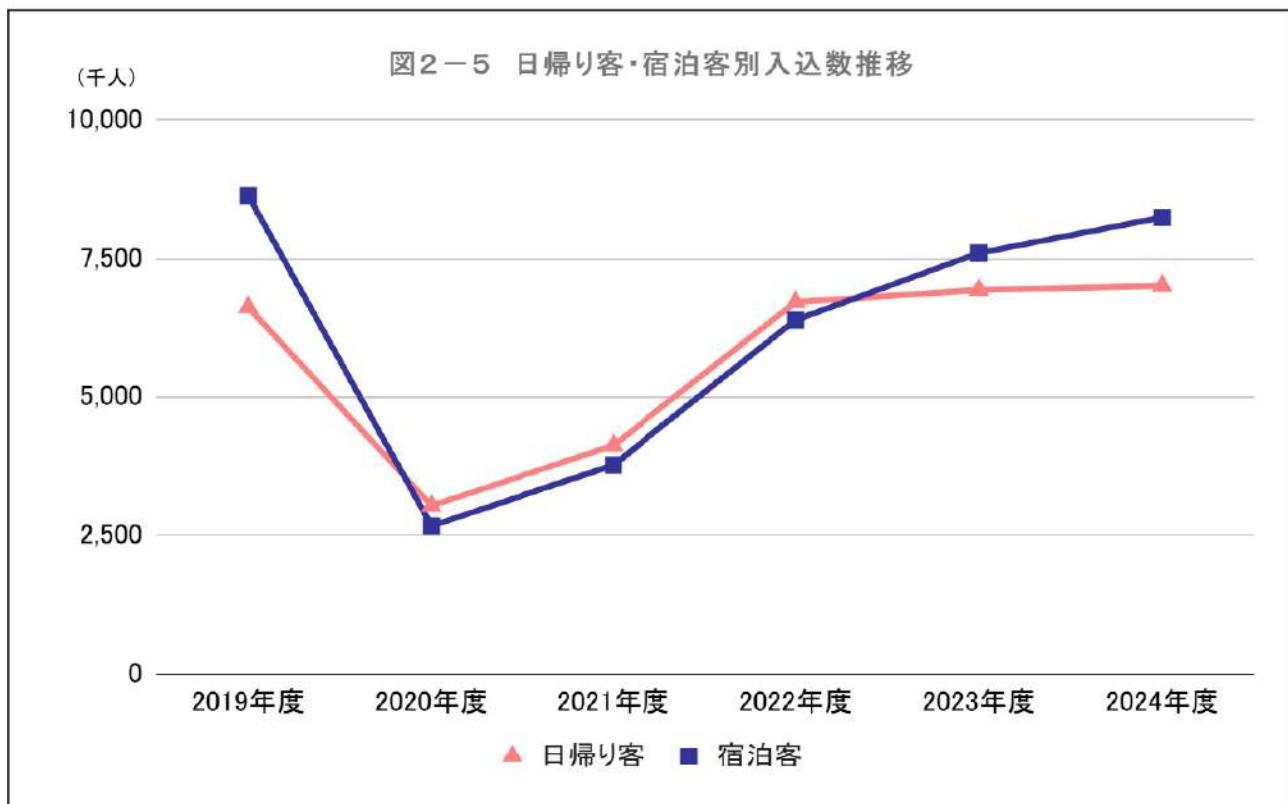
月	合計	乗用車	J R	貸切バス	路線バス	その他
2024年4月	994	818	134	21	20	2
5月	1,533	1,261	187	50	32	3
6月	1,437	1,127	179	101	28	3
7月	1,806	1,244	407	84	67	3
8月	1,919	1,350	440	54	72	4
9月	1,632	1,113	369	86	61	3
10月	1,300	1,007	194	59	38	3
11月	898	675	166	26	29	2
12月	878	610	194	43	30	2
2025年1月	897	599	217	47	33	1
2月	998	684	252	54	7	2
3月	964	687	243	26	7	2
年度計	15,257	11,174	2,981	650	424	28

図2-4 交通機関別入込数月別推移



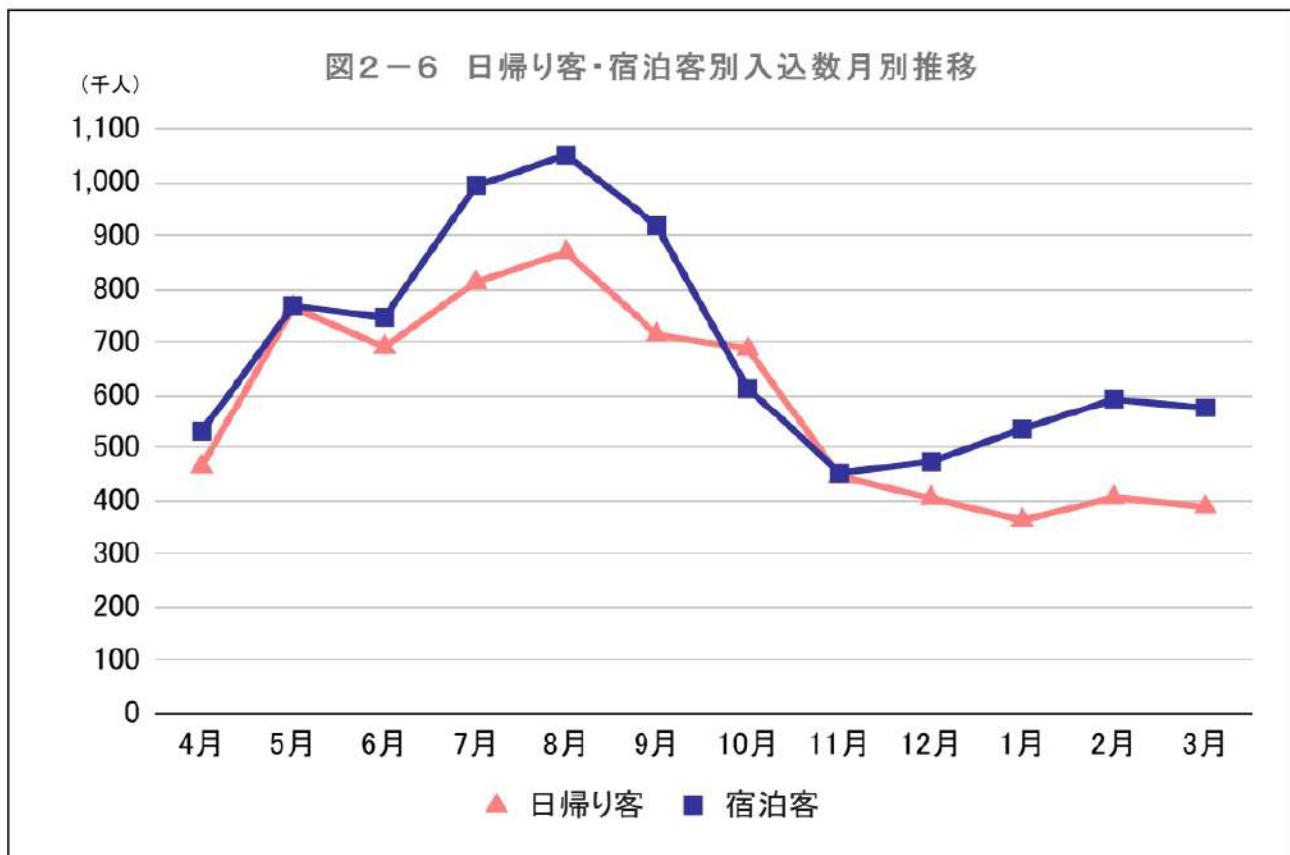
(4) 日帰り客・宿泊客別入込状況

年度	観光客数(千人)			構成比(%)			前年比(%)		
	合計	日帰り客	宿泊客	合計	日帰り客	宿泊客	合計	日帰り客	宿泊客
2019年度	15,264	6,624	8,640	100.0	43.4	56.6	▲3.7	▲14.0	6.1
2020年度	5,705	3,034	2,671	100.0	53.2	46.8	▲62.6	▲54.2	▲69.1
2021年度	7,893	4,123	3,770	100.0	52.2	47.8	38.4	35.9	41.1
2022年度	13,108	6,716	6,392	100.0	51.2	48.8	66.1	62.9	69.5
2023年度	14,540	6,937	7,603	100.0	47.7	52.3	10.9	3.3	19.0
2024年度	15,257	7,010	8,248	100.0	45.9	54.1	4.9	1.0	8.5



【日帰り客・宿泊客別入込数・月別内訳】

月	合 計	(単位:千人)	
		日帰り客	宿泊客
2024年4月	994	464	530
5月	1,533	765	768
6月	1,437	691	747
7月	1,806	813	993
8月	1,919	869	1,051
9月	1,632	714	919
10月	1,300	688	613
11月	898	446	452
12月	878	404	473
2025年1月	897	363	534
2月	998	406	592
3月	964	388	576
年度計	15,257	7,010	8,248



(5) 道内容客・道外客別入込状況

年 度	観光客数(千人)				構 成 比 (%)				前 年 度 比 (%)			
	合 計	道内客	道外客	うち外国人	合 計	道内客	道外客	うち外国人	合 計	道内客	道外客	うち外国人
2019年度	15,264	9,057	6,207	2,423	100.0	59.3	40.7	15.9	▲ 3.7	▲ 5.5	▲ 0.9	▲ 10.9
2020年度	5,705	4,222	1,483	11	100.0	74.0	26.0	0.2	▲ 62.6	▲ 53.4	▲ 76.1	▲ 99.5
2021年度	7,893	5,838	2,055	11	100.0	74.0	26.0	0.1	38.4	38.3	38.6	0.0
2022年度	13,108	9,298	3,810	206	100.0	70.9	29.1	1.6	66.1	59.3	85.4	1,772.7
2023年度	14,540	9,652	4,888	1,612	100.0	66.4	33.6	11.1	10.9	3.8	28.3	682.5
2024年度	15,257	10,110	5,148	2,179	100.0	66.3	33.7	14.3	4.9	4.7	5.3	35.2

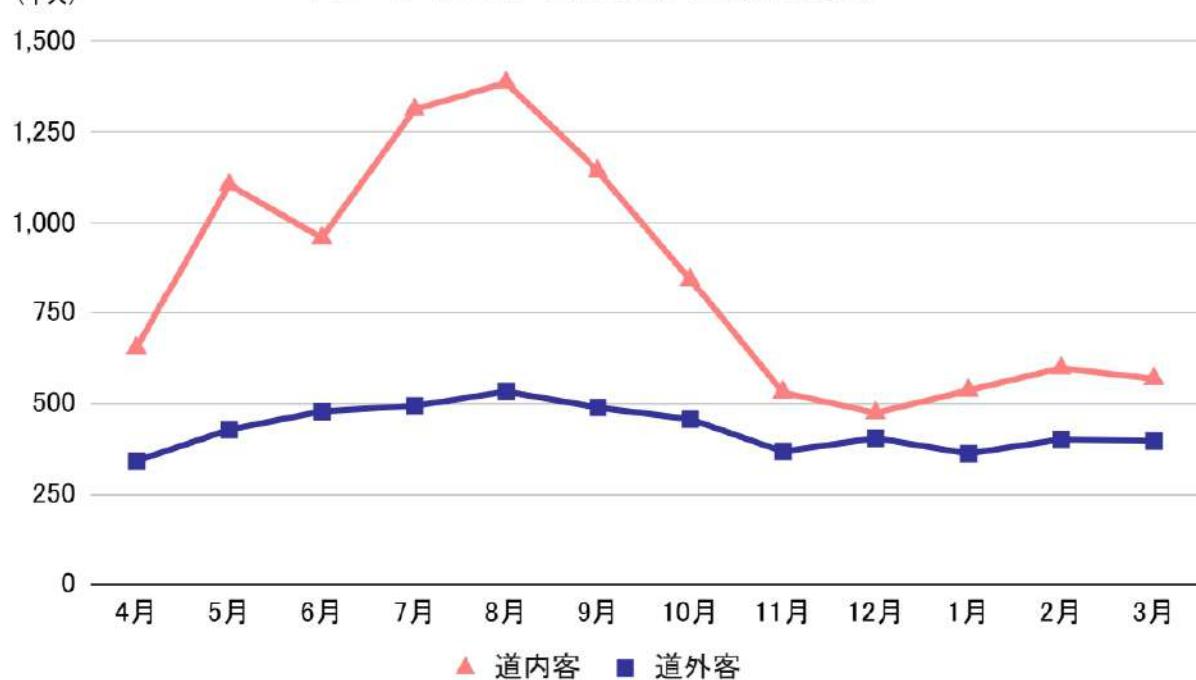


【道内客・道外客別入込数・月別内訳】

(単位:千人)

	合計	道内客	道外客	うち外国人
2024年4月	994	653	341	103
5月	1,533	1,106	428	100
6月	1,437	960	478	125
7月	1,806	1,313	493	176
8月	1,919	1,387	533	169
9月	1,632	1,144	488	129
10月	1,300	844	456	135
11月	898	530	367	131
12月	878	474	404	307
2025年1月	897	536	362	328
2月	998	597	401	299
3月	964	568	396	178
年度計	15,257	10,110	5,148	2,179

図2-8 道内客・道外客別入込数月別推移



第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要

(1) 宿泊施設の定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

- ア ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- イ 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- ウ 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション等。

(2) 調査の内容

- ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答を集計
- イ 項目 客室規模、利用者数、外国人の利用状況、修学旅行生の利用状況

2 宿泊施設の状況

(1) 軒数、客室数、定員数の年度別推移

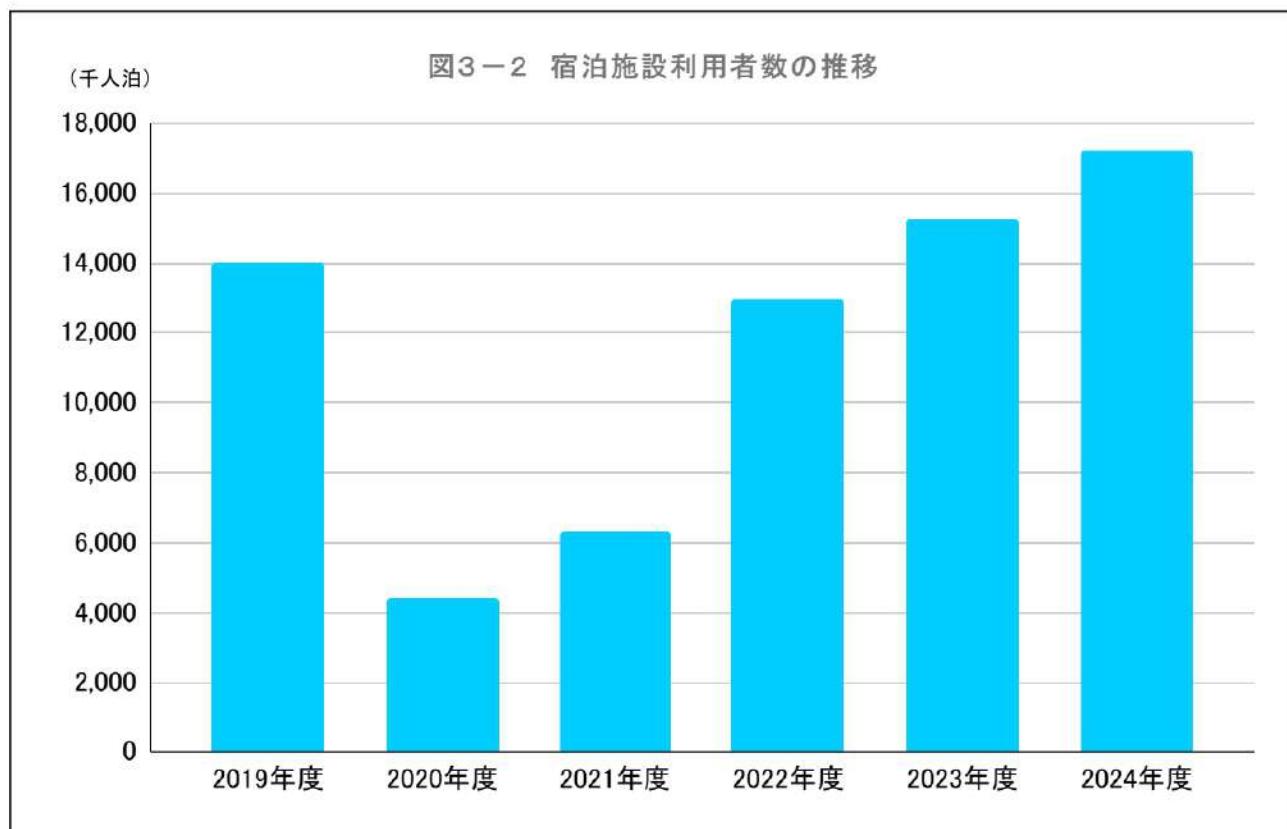
年 度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡 易 宿 所			各 年 度 末 現 在		
	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)									
	2019年度	317	32,004	66,583	205	28,164	54,215	39	2,392	8,976	73	1,448	3,392		
2020年度	351	33,173	70,313	238	29,346	57,736	42	2,356	8,474	71	1,471	4,103			
2021年度	367	34,073	73,745	257	30,696	61,064	42	2,341	9,010	68	1,036	3,671			
2022年度	362	34,339	73,729	258	30,825	62,252	42	2,334	8,764	62	1,180	2,713			
2023年度	373	34,922	74,300	273	31,700	64,053	39	2,054	7,444	61	1,168	2,803			
2024年度	418	35,817	78,869	317	32,541	68,183	37	2,056	7,600	64	1,220	3,086			



3 宿泊施設利用状況

(1) 宿泊施設利用者数（延べ宿泊者数）の年度別推移

年 度	利用者数（千人泊）	前年度比（%）
2019年度	13,981	1.7
2020年度	4,419	▲ 68.4
2021年度	6,310	42.8
2022年度	12,987	105.8
2023年度	15,283	17.7
2024年度	17,208	12.6



ここに掲載する「宿泊施設利用者数」は、市内のホテル・旅館における一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等の宿泊者数を調査したものであり、第2章の観光客入込数とは一致しません。

また、すべての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあった宿泊施設の宿泊施設利用者数を、宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乘じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

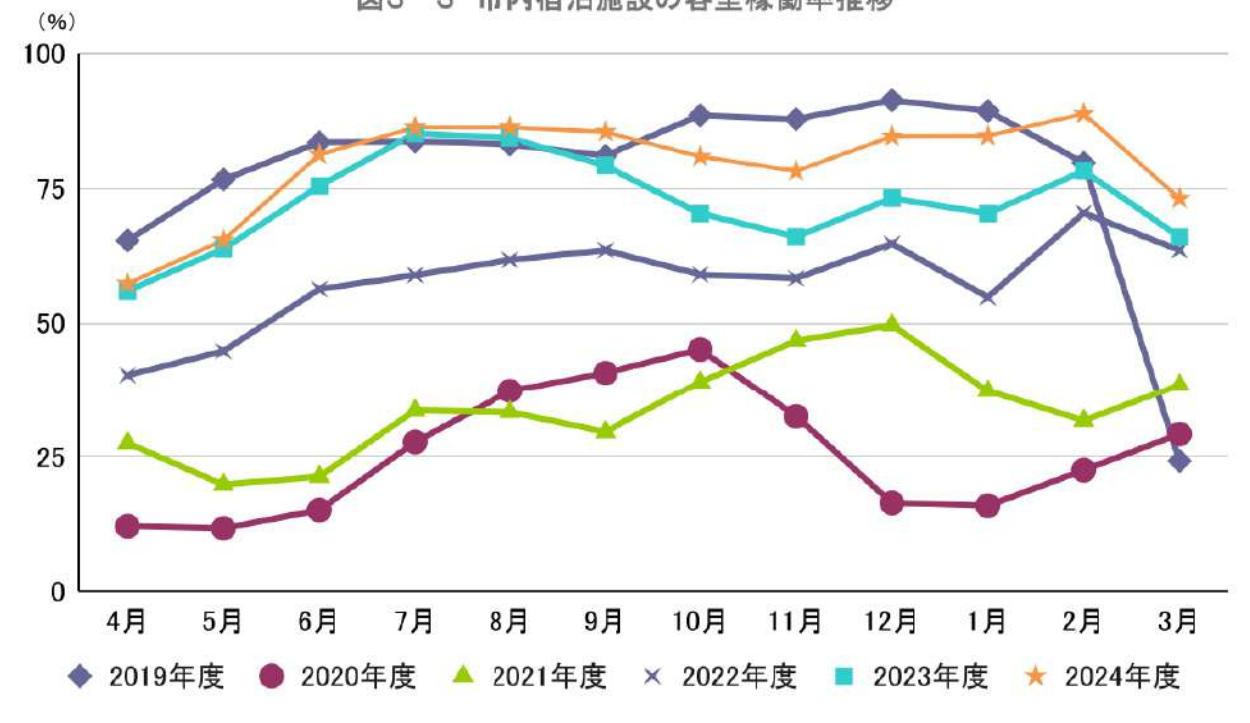
$$\text{定員利用率} = \text{宿泊施設利用者数} / \text{宿泊可能定員数}$$

(2) 市内宿泊施設の客室稼働率

(単位：%)

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	77.9	65.3	76.6	83.5	83.7	83.1	81.0	88.5	87.8	91.3	89.3	79.7	24.2
2020年度	25.5	12.1	11.7	15.1	27.7	37.3	40.7	45.1	32.5	16.4	15.9	22.5	29.2
2021年度	34.0	27.5	19.8	21.3	33.6	33.3	29.6	39.0	46.7	49.6	37.3	31.7	38.4
2022年度	58.0	40.3	44.8	56.3	58.9	61.7	63.5	59.0	58.3	64.7	54.8	70.4	63.5
2023年度	72.1	56.0	63.7	75.4	85.2	84.3	79.2	70.3	66.0	73.1	70.3	78.2	66.0
2024年度	79.3	57.3	65.4	81.3	86.3	86.3	85.4	80.9	78.2	84.6	84.7	88.8	73.1

図3-3 市内宿泊施設の客室稼働率推移



4 外国人の宿泊状況

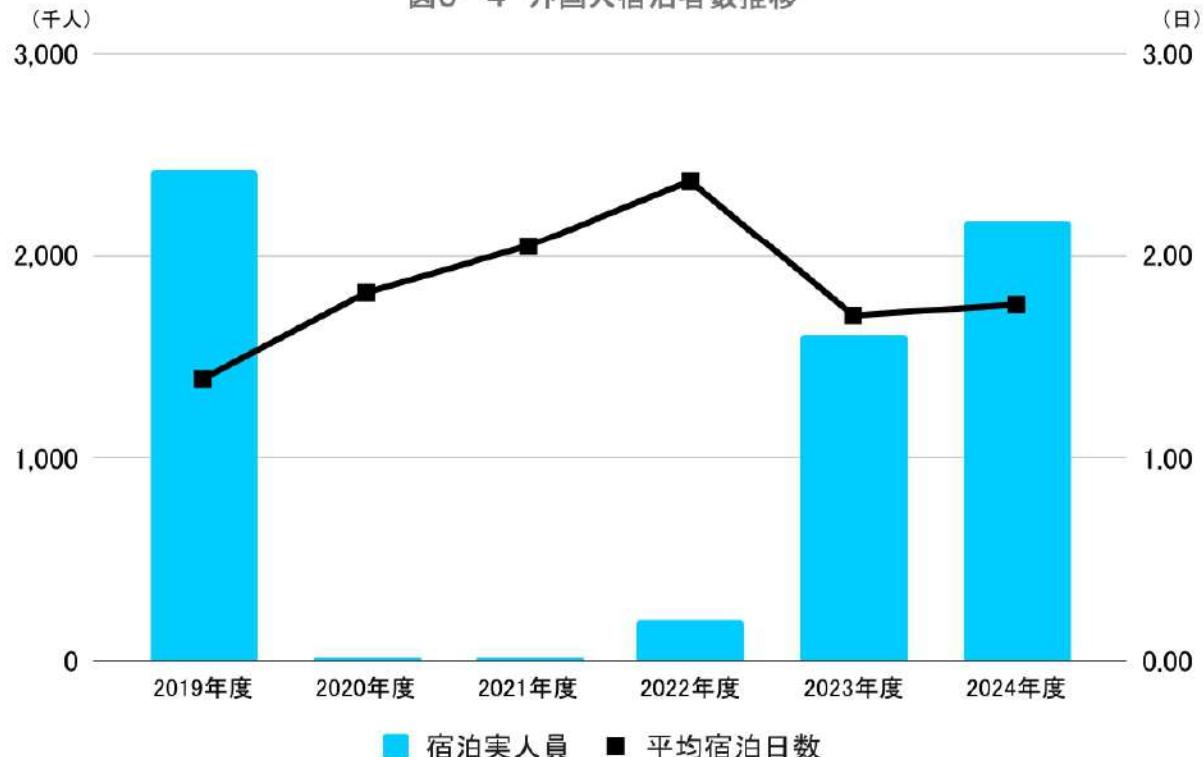
ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含みます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

なお、2022年度までは札幌市が宿泊施設の協力のもと行った調査及び札幌市民泊利用実績から集計し、2023年度からは観光庁「宿泊旅行統計調査」及び札幌市民泊利用実績から集計しています。

(1) 外国人の宿泊者数年度別推移

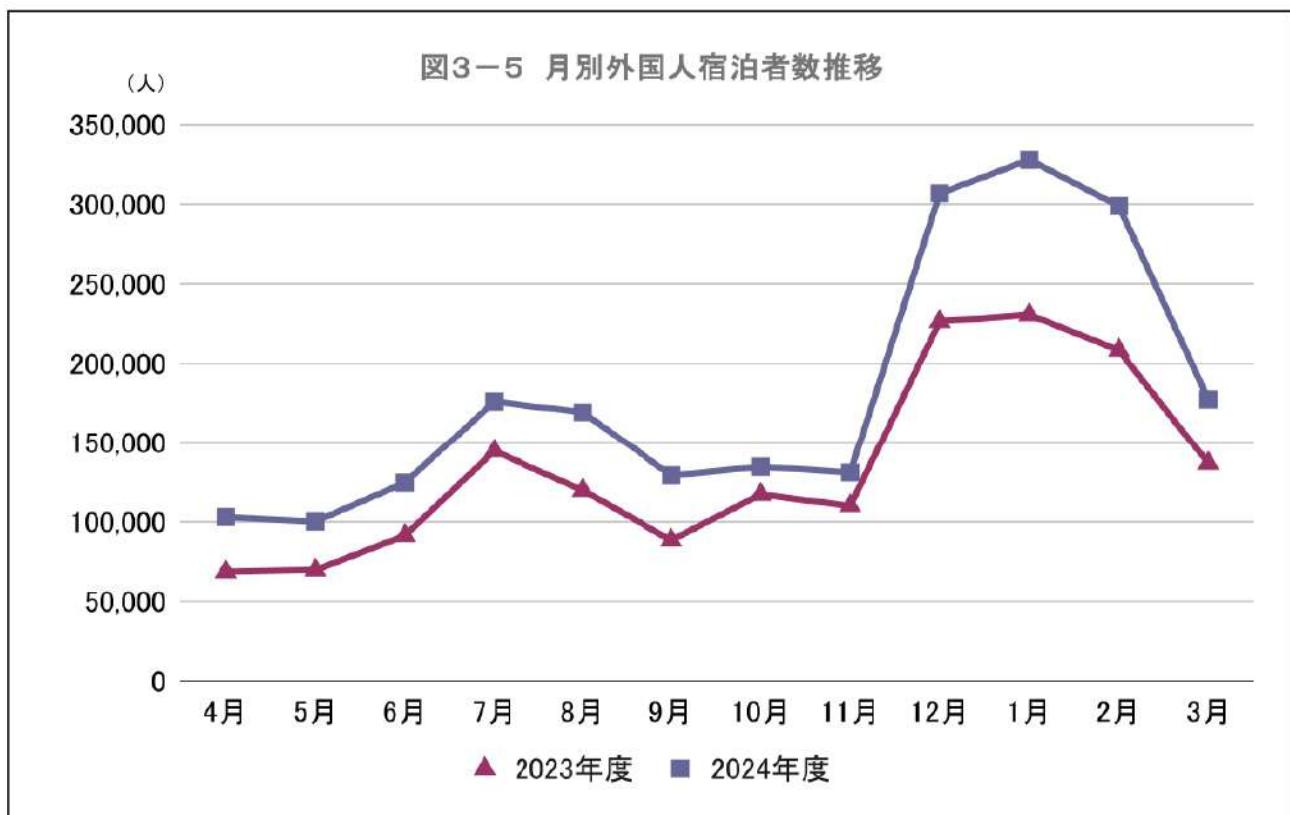
年 度	宿泊実人数(人)	前年度比 (%)	延べ宿泊者数(人泊)	平均宿泊日数(日)
2019年度	2,423,236	▲ 5.8	3,370,263	1.39
2020年度	11,187	▲ 99.5	20,321	1.82
2021年度	11,464	2.5	23,493	2.05
2022年度	205,558	1693.1	487,837	2.37
2023年度	1,612,075	684.2	2,747,505	1.70
2024年度	2,179,393	35.2	3,830,879	1.76

図3-4 外国人宿泊者数推移



(2) 外国人の宿泊者数月別内訳

月	宿泊者数 (人)	構成比 (%)	前年度比 (%)	前年度宿泊者数 (人)
2024年4月	102,930	4.7	49.9	68,644
5月	100,248	4.6	43.8	69,690
6月	124,520	5.7	36.3	91,337
7月	176,148	8.1	21.8	144,575
8月	169,458	7.8	41.5	119,762
9月	129,143	5.9	46.1	88,391
10月	134,631	6.2	14.9	117,174
11月	131,063	6.0	19.2	109,943
12月	306,834	14.1	35.4	226,540
2025年1月	327,896	15.0	42.1	230,727
2月	298,932	13.7	43.4	208,450
3月	177,590	8.1	29.8	136,842
年度計	2,179,393	100.0	35.2	1,612,075



(3) 外国人の宿泊者数発地別内訳

区分	宿泊者数(人)		延べ宿泊者数(人泊)	平均宿泊日数(日)	前年度比 (%)	前年度宿泊者数(人)
	(A)	構成比 (%)				
合計	2,179,393	100.0	3,830,879	1.76	35.2	1,612,075
(州別)						
アジア	1,852,935	85.0	3,211,779	1.73	36.7	1,355,172
北米	100,772	4.6	202,438	2.01	38.7	72,669
オセアニア	45,285	2.1	66,518	1.47	46.4	30,930
ヨーロッパ	32,454	1.5	91,349	2.81	34.9	24,051
その他または不明	147,947	6.8	258,795	1.75	14.5	129,253
(国・地域別)						
韓国	589,147	27.0	967,399	1.64	26.1	467,031
中国	457,767	21.0	825,786	1.80	138.1	192,254
台湾	360,218	16.5	563,613	1.56	20.4	299,090
香港	126,501	5.8	230,364	1.82	21.0	104,554
タイ	97,126	4.5	167,138	1.72	0.3	96,803
アメリカ合衆国	86,320	4.0	175,033	2.03	38.9	62,167
シンガポール	79,519	3.6	163,930	2.06	0.1	79,445
マレーシア	55,903	2.6	111,935	2.00	31.7	42,446
オーストラリア	45,285	2.1	91,349	2.02	46.4	30,930
フィリピン	44,007	2.0	94,438	2.15	57.5	27,936
インドネシア	33,385	1.5	67,613	2.03	13.7	29,366
イギリス	18,184	0.8	37,611	2.07	44.3	12,601
カナダ	14,452	0.7	27,405	1.90	37.6	10,502
フランス	6,494	0.3	13,615	2.10	29.6	5,011
ドイツ	6,413	0.3	12,789	1.99	14.4	5,606
ベトナム	4,874	0.2	9,910	2.03	▲50.4	9,834
インド	4,488	0.2	9,653	2.15	▲30.0	6,413
ロシア	1,363	0.1	2,503	1.84	63.6	833
その他または不明	147,947	6.8	258,795	1.75	14.5	129,253

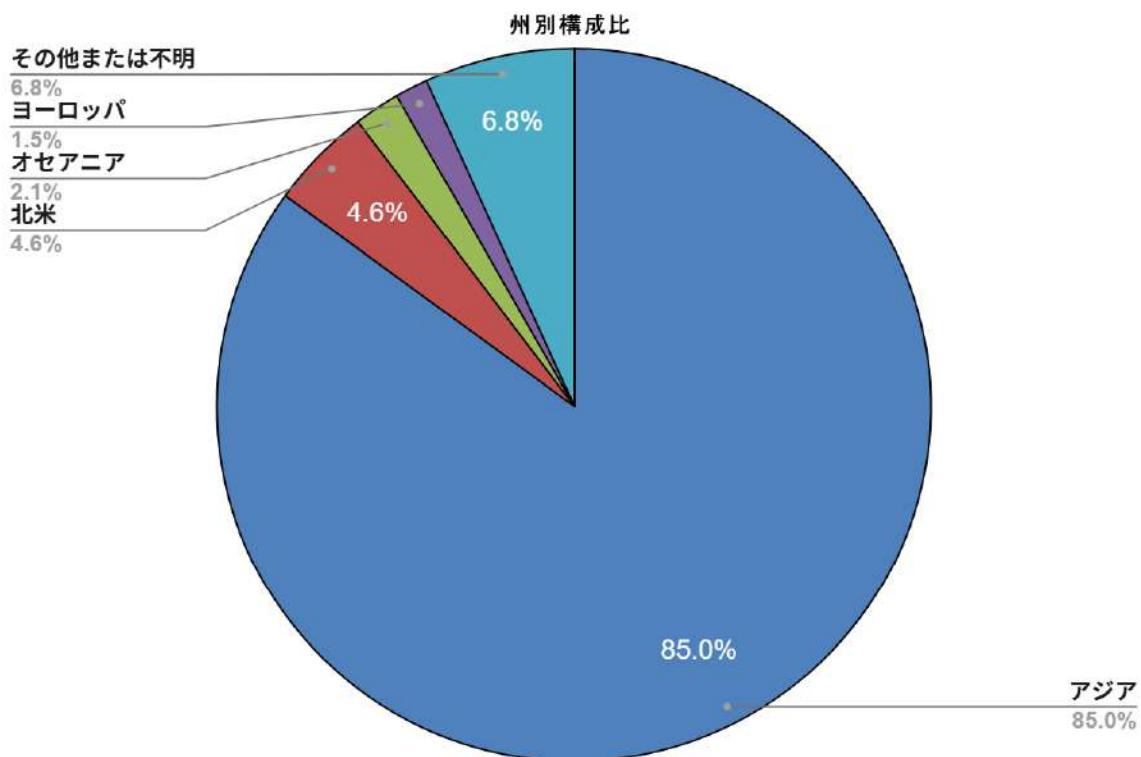


図3-6 外国人宿泊者数構成比(州別)

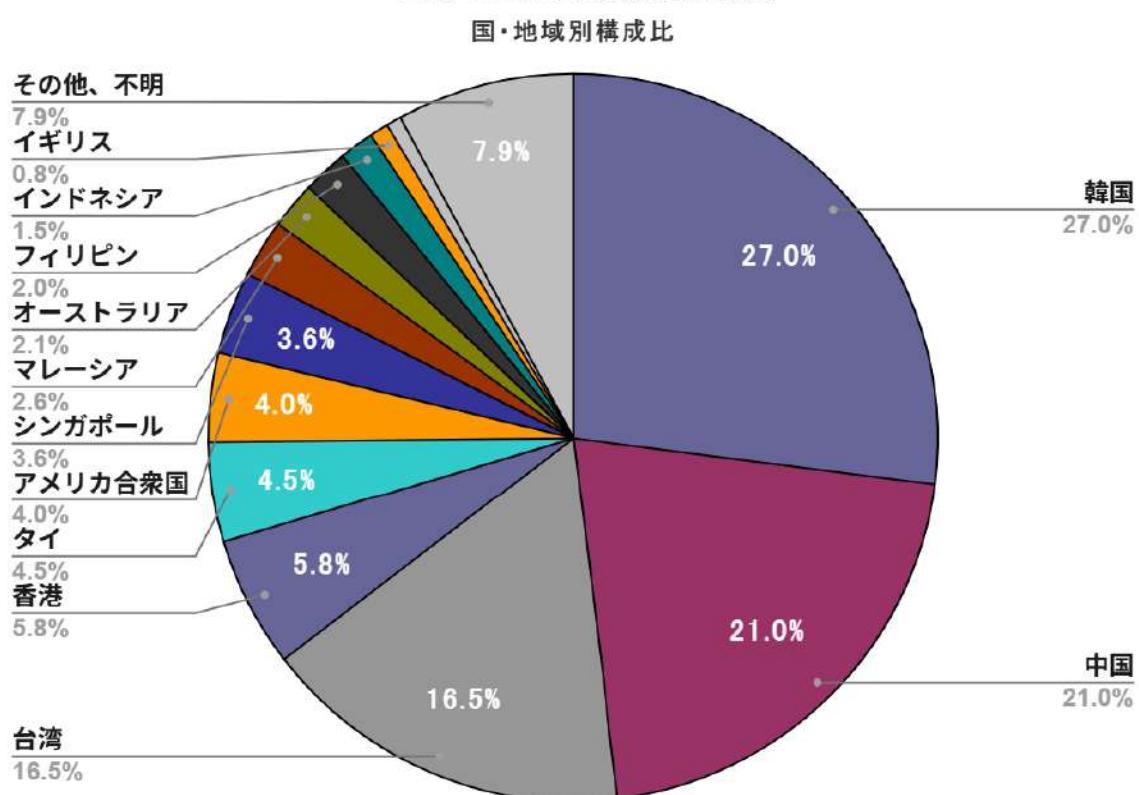


図3-7 外国人宿泊者数構成比(国・地域別)

(1)の宿泊者数を、札幌市が行った宿泊施設に対する調査結果（国・地域別の割合）で按分して推計しています。

参考

訪日外客数（令和6年）

※訪日外客数は暦年集計。
※国別外客数は上位15カ国を抜粋表示。

区分	訪日外客数（人）	構成比（%）	前年訪日外客数（人）
合計	36,870,148	100.0	25,066,350
(州別)			
アジア	29,752,855	80.7	19,984,902
北アメリカ	3,478,768	9.4	2,583,678
ヨーロッパ	2,390,258	6.5	1,663,432
オセアニア	1,040,961	2.8	696,251
南アメリカ	155,625	0.4	99,350
アフリカ	51,130	0.1	38,266
その他	551	0.0	471
(国・地域別)			
韓国	8,817,765	23.9	6,958,494
中国	6,981,342	18.9	2,425,157
台湾	6,044,316	16.4	4,202,434
アメリカ合衆国	2,724,594	7.4	2,045,854
香港	2,683,391	7.3	2,114,402
タイ	1,148,848	3.1	995,558
オーストラリア	920,196	2.5	613,062
フィリピン	818,659	2.2	622,293
シンガポール	691,226	1.9	591,267
ベトナム	621,173	1.7	573,916
カナダ	579,445	1.6	425,874
インドネシア	517,651	1.4	429,382
マレーシア	506,883	1.4	415,712
イギリス	437,230	1.2	321,482
フランス	385,071	1.0	277,436
その他	2,992,358	8.1	2,054,027

<資料>日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計

州別構成比

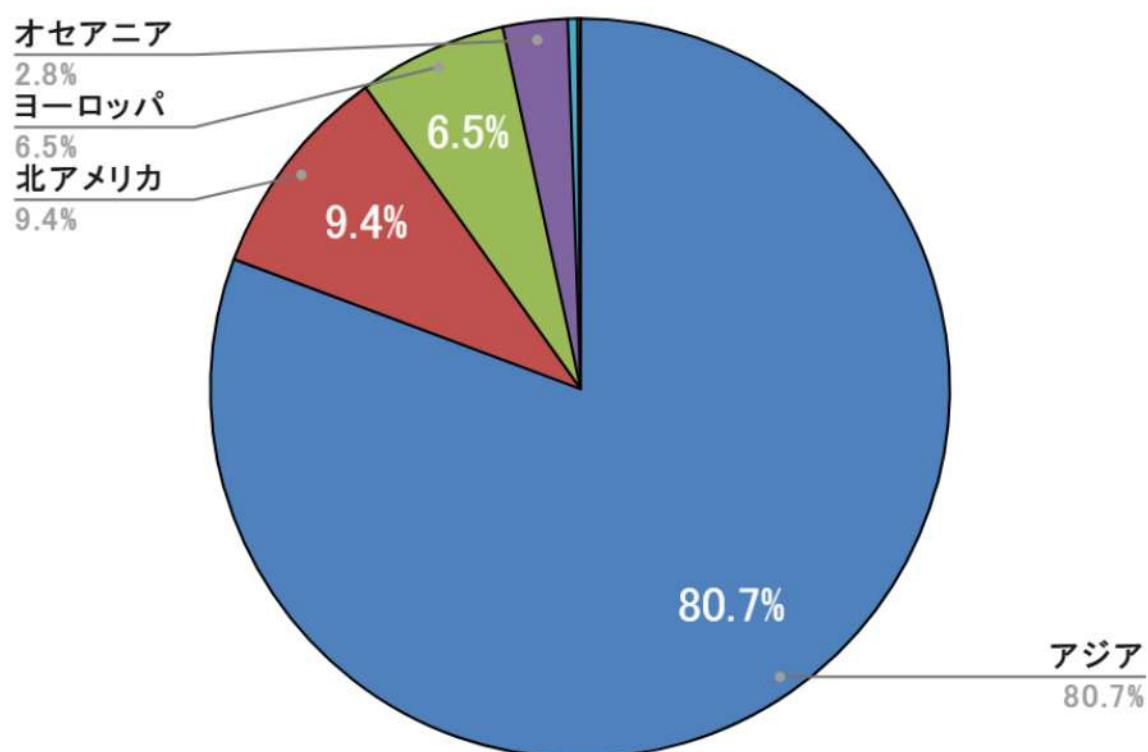


図3-8 訪日外客数構成比(州別)

上位10カ国・地域の構成比

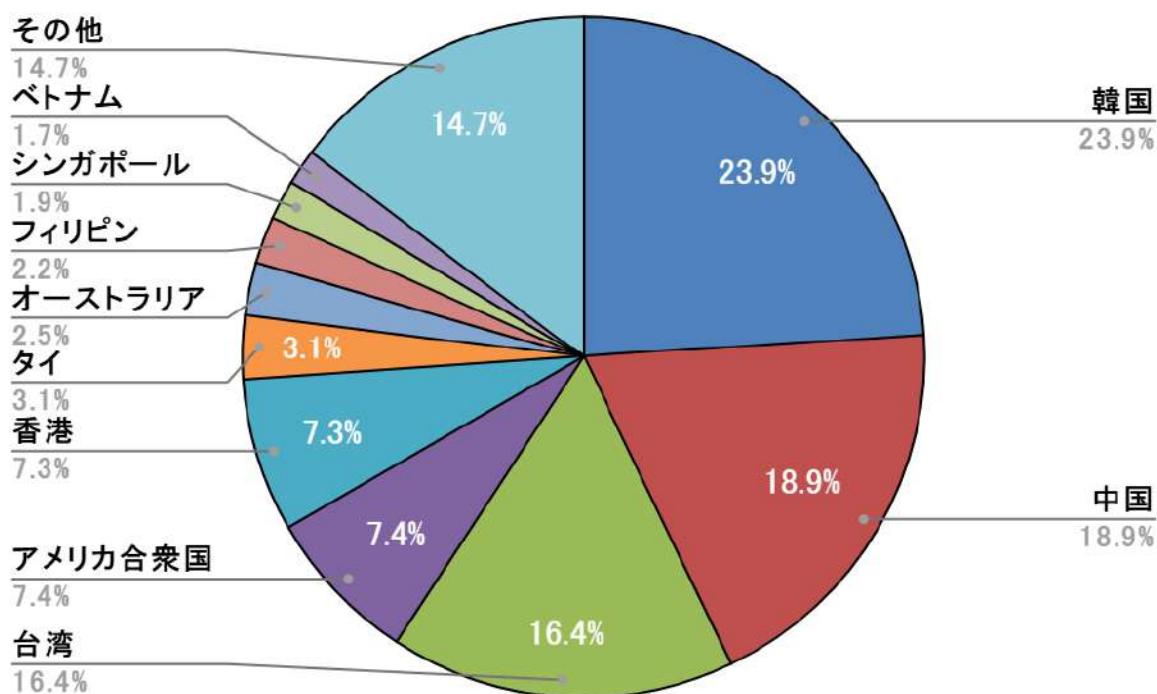


図3-9 訪日外客数構成比(国・地域別)

5 修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

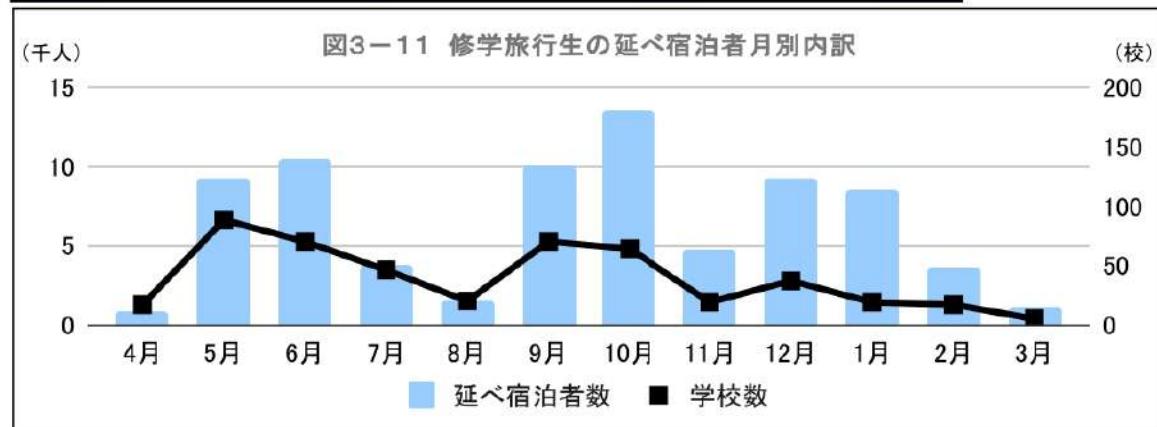
(1) 修学旅行生の宿泊数年度別推移

年 度	学 校 数 (校)	延べ宿泊者数 (人泊)
2020年度	297	13,561
2021年度	132	27,468
2022年度	782	103,784
2023年度	427	73,076
2024年度	472	76,291



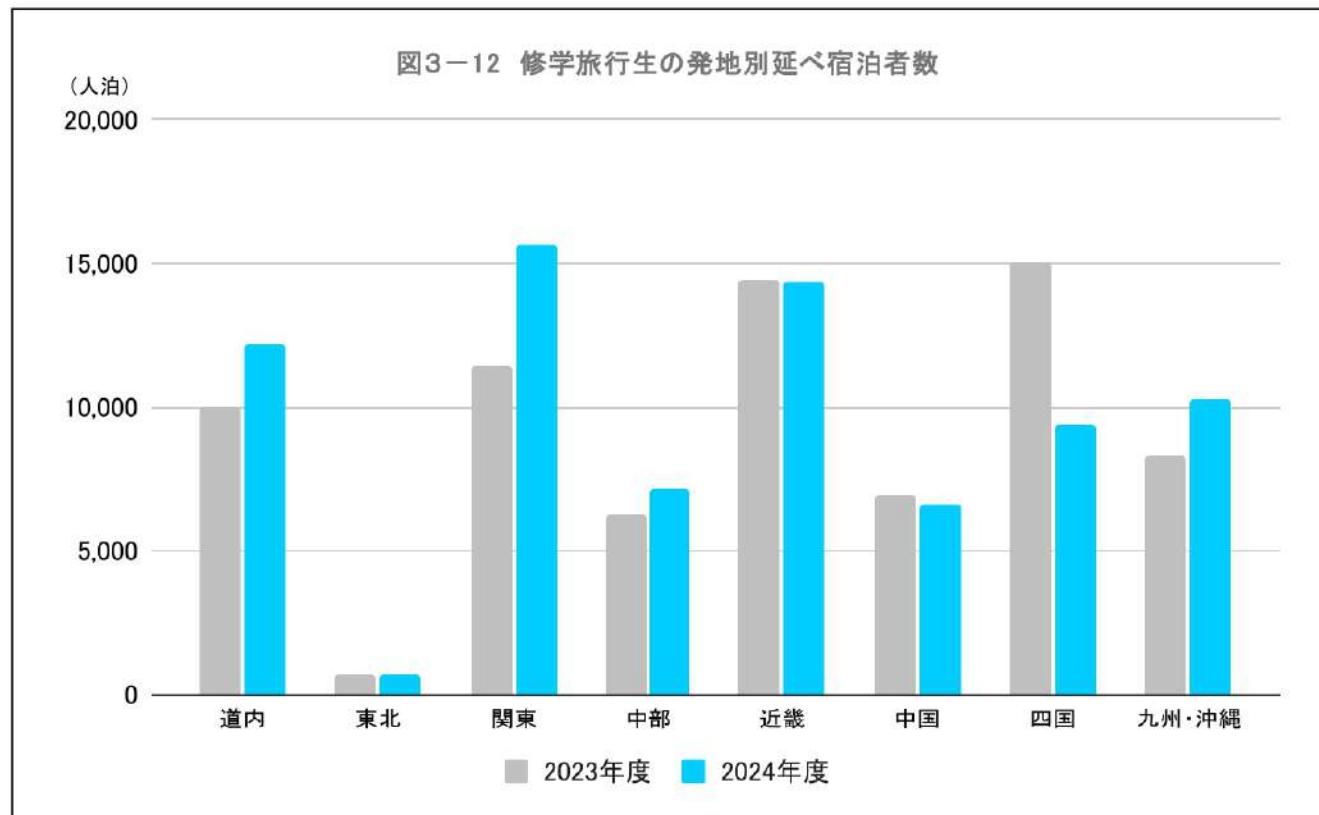
(2) 修学旅行生の宿泊数月別内訳

月	学 校 数 (校)	延べ宿泊者数 (人泊)	構成比 (%)
2024年4月	17	778	1.0
5月	88	9,199	12.1
6月	70	10,412	13.6
7月	46	3,762	4.9
8月	20	1,475	1.9
9月	70	10,106	13.2
10月	64	13,502	17.7
11月	19	4,696	6.2
12月	37	9,188	12.0
2025年1月	19	8,461	11.1
2月	17	3,609	4.7
3月	5	1,103	1.4
年度計	472	76,291	100



(3) 修学旅行生の宿泊数発地別内訳

学校（校）	延べ宿泊者数（人泊）	構成比（%）	前年度比（%）	前年度延べ宿泊者数（人泊）
道内	174	12,154	15.9	21.5
東北	10	722	0.9	3.7
関東	80	15,638	20.5	36.8
中部	40	7,157	9.4	14.2
近畿	72	14,358	18.8	▲ 0.4
中国	37	6,597	8.6	▲ 5.4
四国	34	9,404	12.3	▲ 37.3
九州・沖縄	25	10,261	13.4	23.7
合計	472	76,291	100.0	4.4
				73,076



6 定山渓地域の宿泊状況

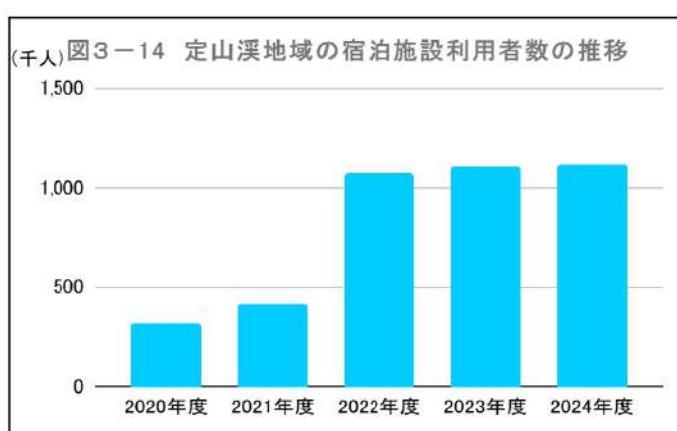
(1) 定山渓地域の宿泊施設軒数、客室数、定員数

年 度	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)
2019年度	23	1,970	7,623
2020年度	35	1,944	7,449
2021年度	36	1,997	8,163
2022年度	38	2,102	8,209
2023年度	37	1,865	7,000
2024年度	39	1,944	7,357



(2) 定山渓地域の宿泊施設利用者数

年 度	利用者数 (千人)	前年度比 (%)
2019年度	1,266	2.7
2020年度	323	▲ 74.5
2021年度	412	27.6
2022年度	1,073	160.4
2023年度	1,107	3.2
2024年度	1,119	1.1



ここに掲載する定山渓地域の「宿泊施設利用者数」は、一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等を含む全ての利用者数です。

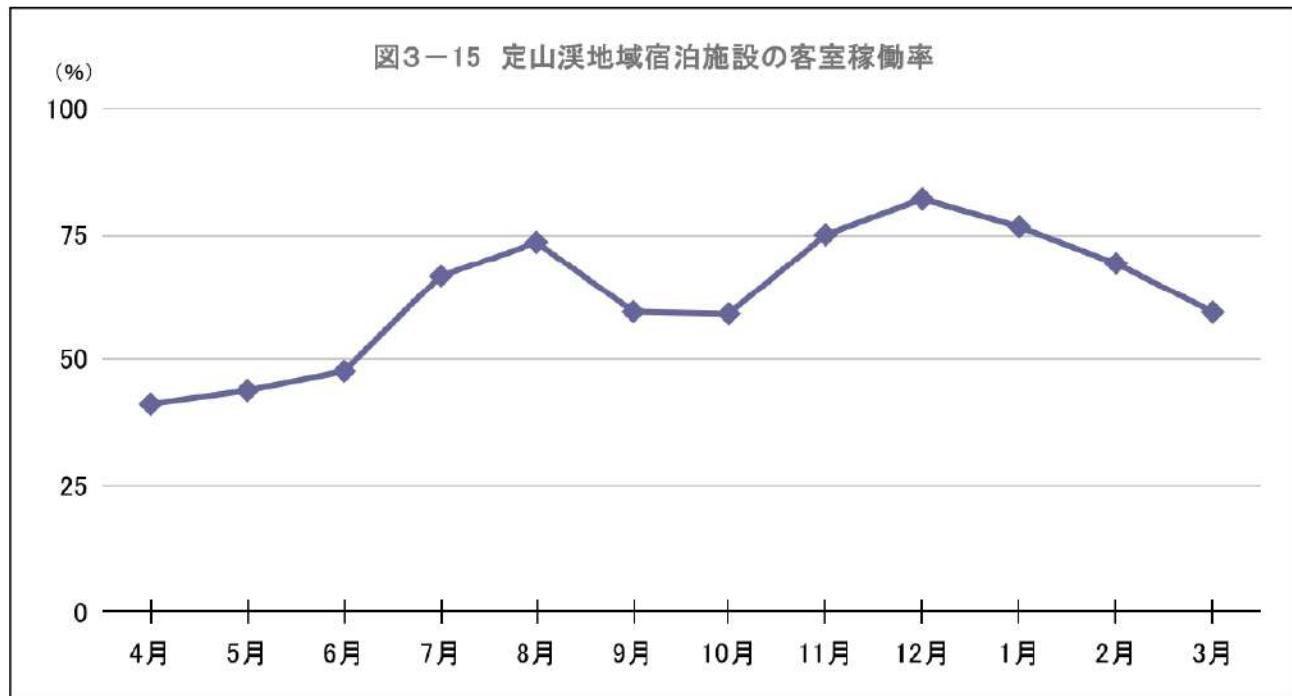
ただし、全ての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあった宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乘じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \text{宿泊施設利用者数} / \text{宿泊可能定員数}$$

(3) 定山渓地域宿泊施設の客室稼働率

(単位：%)

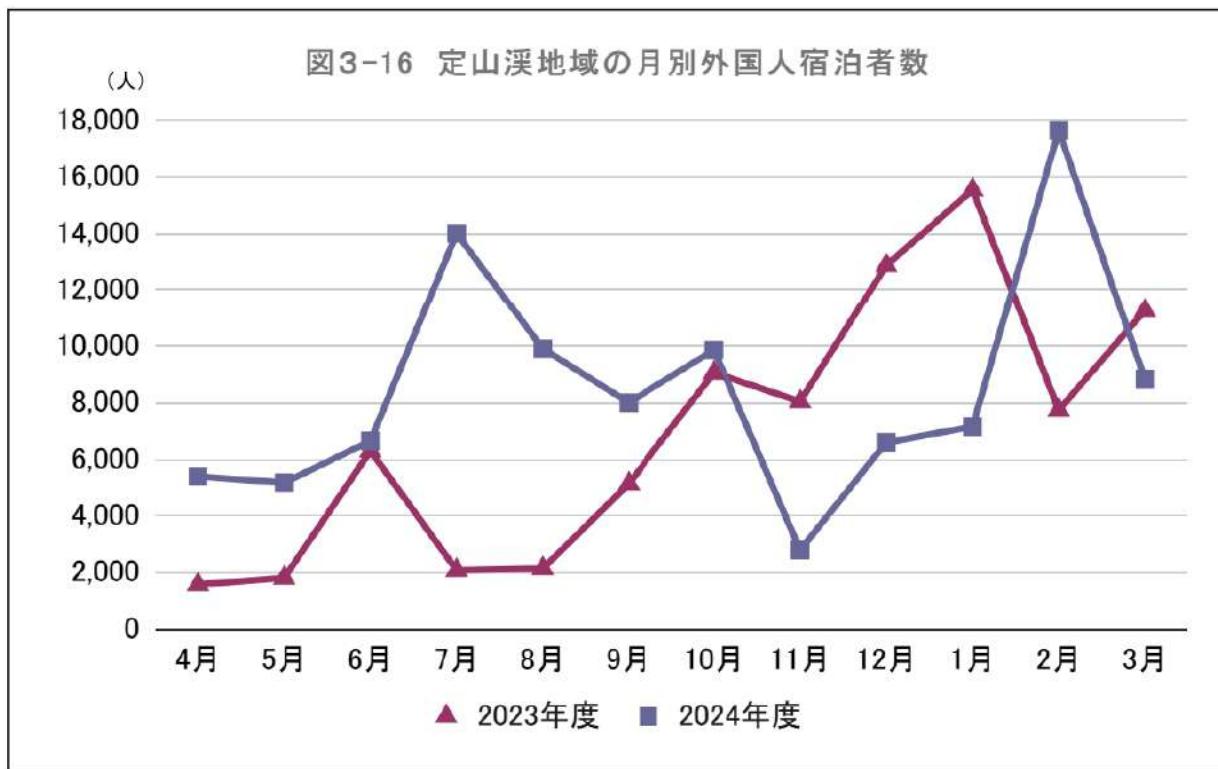
年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
59.2	41.1	43.8	47.6	66.7	73.6	59.4	59.0	75.1	82.2	76.7	69.3	59.3



(4) 定山渓地域の外国人宿泊者数

ここに掲載する外国人宿泊者数には、観光以外の目的での利用者も含みます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊者数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊者数を推計することが適当ではないため、回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	外国人宿泊者数 (人)	構成比 (%)	前年度比 (%)	前年度宿泊者 (人)
2024年4月	5,399	5.3	241.3	1,582
5月	5,177	5.1	184.8	1,818
6月	6,648	6.5	5.6	6,298
7月	14,015	13.7	570.3	2,091
8月	9,906	9.7	361.8	2,145
9月	7,997	7.8	55.5	5,144
10月	9,853	9.7	8.8	9,053
11月	2,801	2.7	▲65.2	8,041
12月	6,601	6.5	▲48.8	12,888
2025年1月	7,158	7.0	▲54.0	15,554
2月	17,646	17.3	128.0	7,740
3月	8,827	8.7	▲21.6	11,265
年度計	102,028	100.0	22.0	83,619

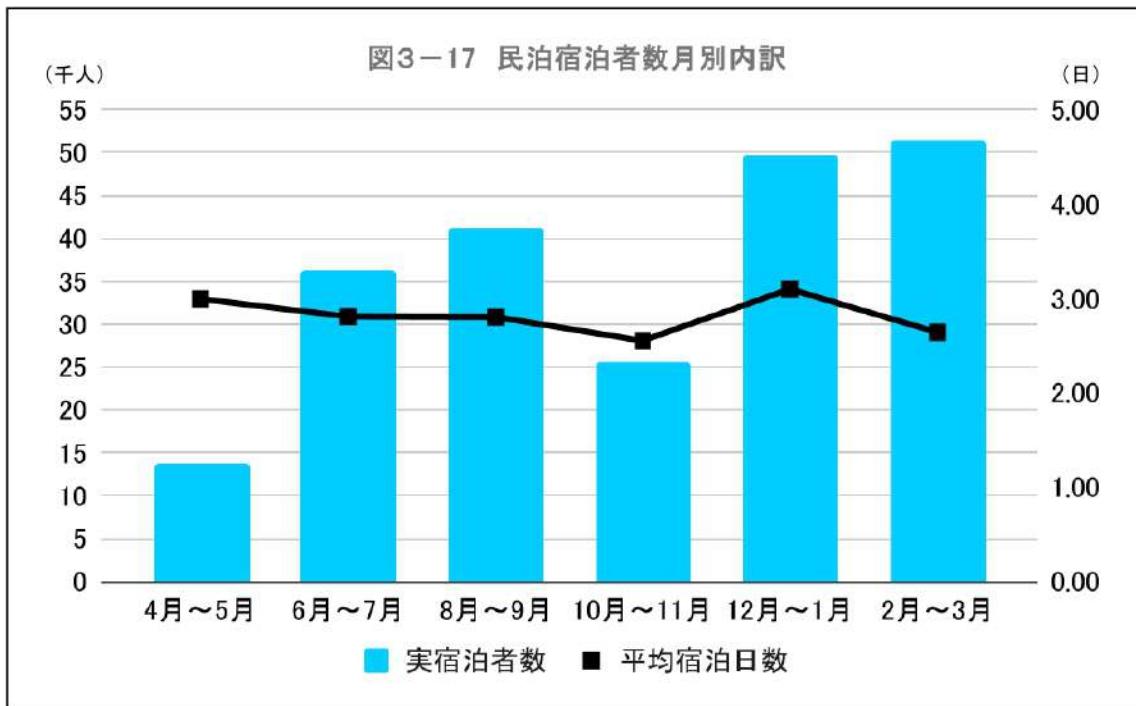


7 民泊利用状況

民泊宿泊者数は、2か月に1度、民泊事業者が報告する宿泊人数、宿泊延べ人数等の実績を集計して算出しています。

(1) 民泊宿泊者数月別内訳

月	宿泊実人数(人)	延べ宿泊者数(人泊)	平均宿泊日数(日)
4月～5月	13,751	41,188	3.00
6月～7月	36,335	102,034	2.81
8月～9月	41,294	115,743	2.80
10月～11月	25,634	65,408	2.55
12月～1月	49,752	154,158	3.10
2月～3月	51,360	135,667	2.64
年度計	218,126	614,198	2.82



(2) 民泊届出施設数

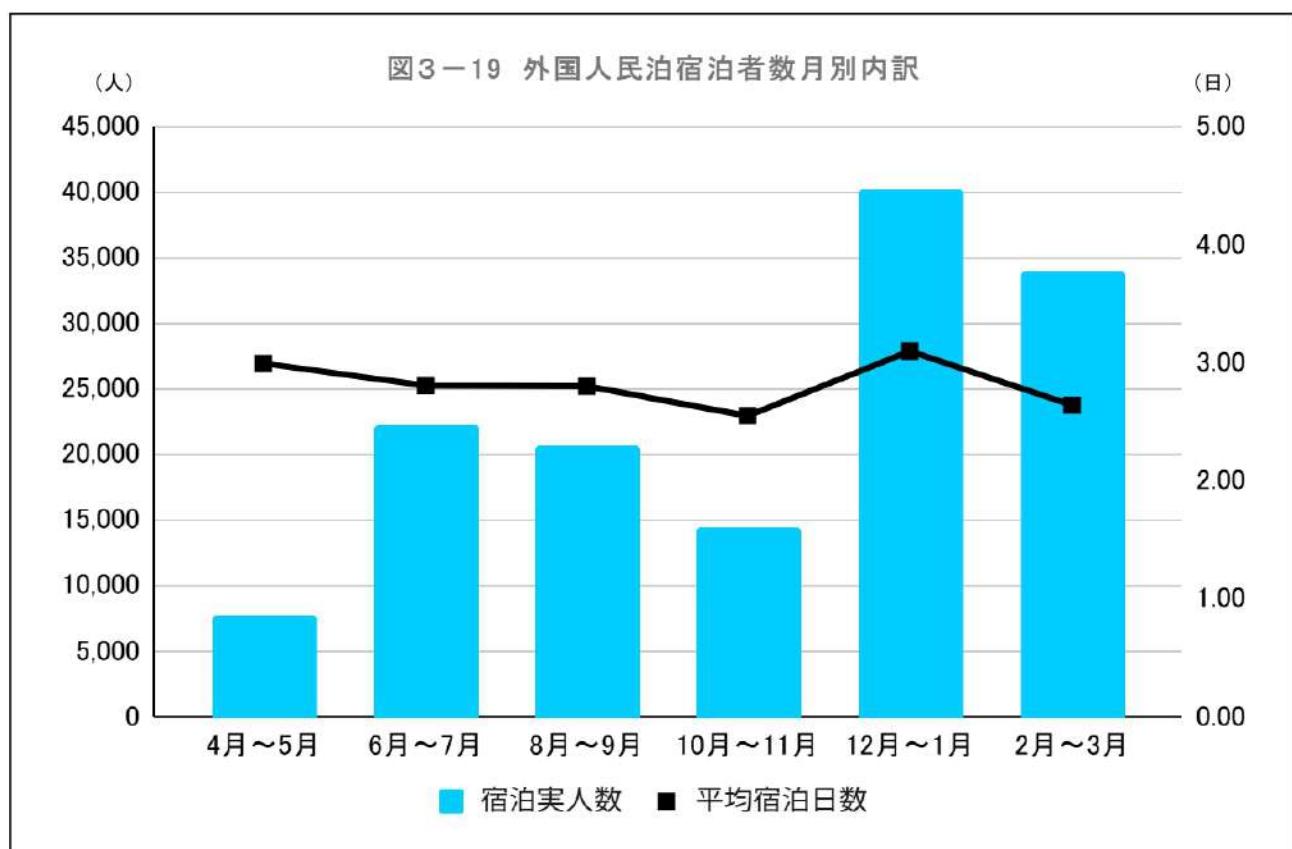
年度計	合計(件)
2019年度	2,503
2020年度	1,669
2021年度	1,399
2022年度	1,317
2023年度	1,600
2024年度	2,032

各年度末時点の届出事業者数（定期報告の対象となる施設数）を計上



(3) 外国人民泊宿泊者数月別内訳

月	宿泊実人数(人)	延べ宿泊者数(人泊)	平均宿泊日数(日)
4月～5月	7,785	23,319	3.00
6月～7月	22,208	62,360	2.81
8月～9月	20,746	58,148	2.80
10月～11月	14,496	36,989	2.55
12月～1月	40,174	124,480	3.10
2月～3月	34,024	89,872	2.64
年度計	139,433	395,168	2.83



(4) 外国人の民泊宿泊者数発地別内訳

区分	宿泊者数(人)	構成比 (%)	延べ宿泊者数(人泊)	平均宿泊日数(日)
合計	139,433	100.0	395,168	2.83
(州別)				
アジア	95,876	68.8	270,827	2.82
北米	26,301	18.9	75,708	2.88
ヨーロッパ	7,538	5.4	21,170	2.81
オセアニア	4,682	3.4	13,291	2.84
その他	5,036	3.6	14,172	2.81
(国・地域別)				
韓国	33,622	24.1	94,667	2.82
中国	25,197	18.1	72,627	2.88
台湾	17,426	12.5	48,960	2.81
アメリカ	8,659	6.2	24,343	2.81
香港	8,601	6.2	24,338	2.83
マレーシア	7,232	5.2	20,630	2.85
シンガポール	6,951	5.0	19,882	2.86
オーストラリア	4,842	3.5	13,709	2.83
フィリピン	4,682	3.4	13,291	2.84
タイ	4,245	3.0	11,930	2.81
インドネシア	3,622	2.6	10,421	2.88
イギリス	3,601	2.6	10,143	2.82
カナダ	1,354	1.0	3,792	2.80
フランス	1,172	0.8	3,291	2.81
ドイツ	1,104	0.8	3,081	2.79
ベトナム	856	0.6	2,438	2.85
インド	464	0.3	1,296	2.79
スペイン	327	0.2	919	2.81
イタリア	308	0.2	866	2.81
ロシア	132	0.1	372	2.82
その他	5,036	3.6	14,172	2.81

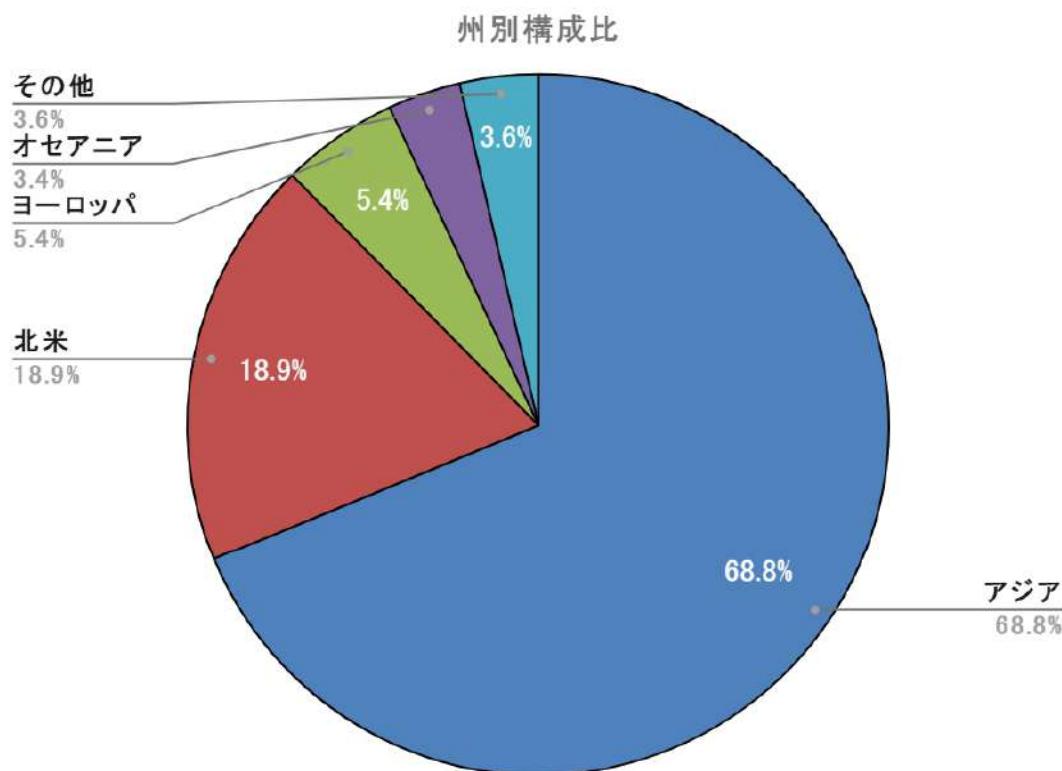


図3-22 外国人民泊宿泊者数構成比(州別)

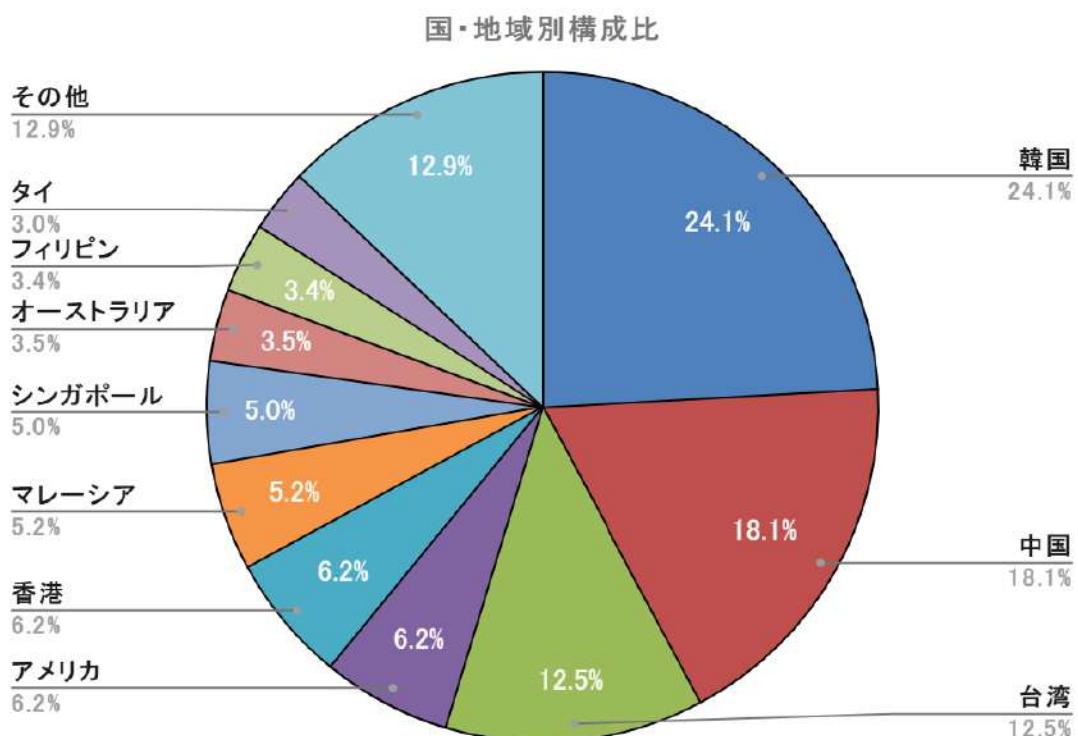


図3-23 外国人民泊宿泊者数構成比(国・地域別)

民泊事業者が報告する延べ宿泊者数は、国別の内訳がないため、ここに掲載する延べ宿泊者数の内訳は、宿泊者数の構成比により推計しています。

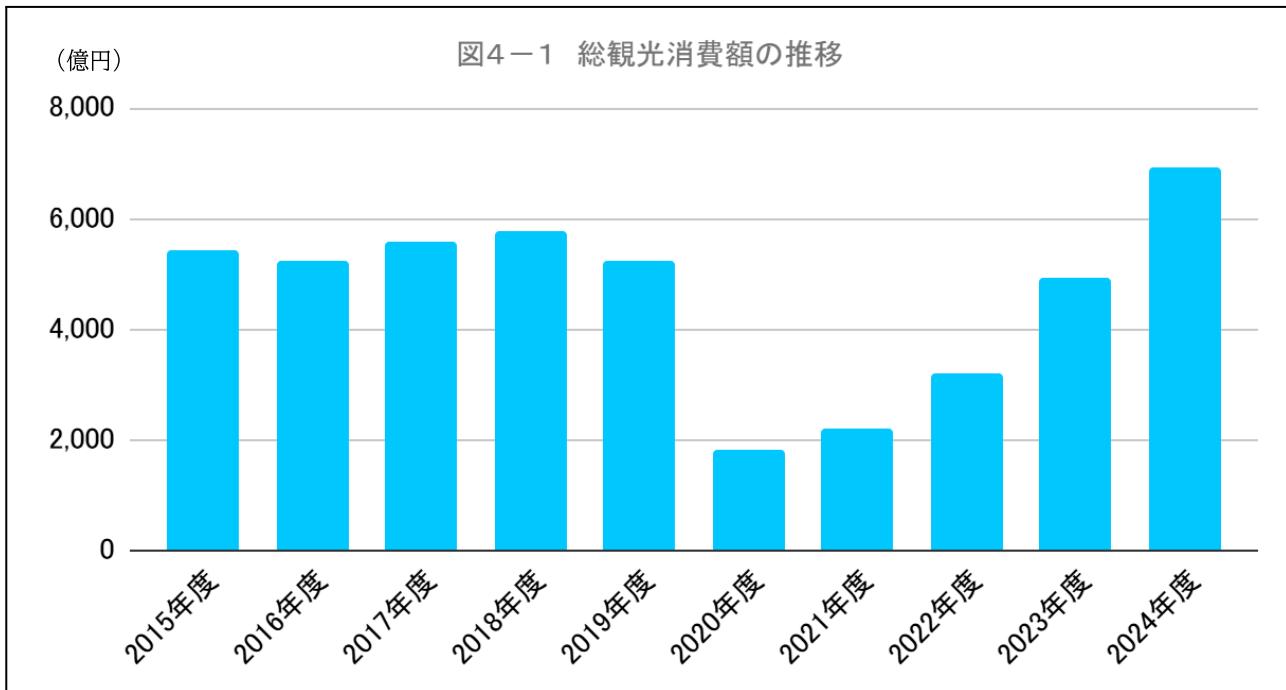
第4章 総観光消費額

1 2024年度の状況

2024年度の総観光消費額は、**約6,941億円**となり、前年度の約4,921億円と比較すると約2,020億円（前年度比41.1%）の増となりましたが。これまでの過去最高だった2018年度の約5,780億円との比較では、約1,161億円（20.1%）の増加となりました。

2 総観光消費額の推移

年 度	観光消費額（億円）	前年度比（%）
2015年度	5,440	26.7
2016年度	5,229	▲ 3.9
2017年度	5,561	6.4
2018年度	5,780	3.9
2019年度	5,215	▲ 9.8
2020年度	1,808	▲ 65.3
2021年度	2,183	20.8
2022年度	3,195	46.3
2023年度	4,921	54.0
2024年度	6,941	41.1



＜総観光消費額の算出方法について＞

札幌市の総観光消費額は、来札観光客数に、観光消費単価を乗じて推計しています。なお、これには札幌市民の観光消費額も含まれます。

第5章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

2025さっぽろ雪まつり（第75回）では、「大通会場」に人気のキャラクターや国内の有名建築物など芸術性の高い大雪像が作られ、幅広い年齢層から関心を集めたほか、大雪像へのプロジェクトマッピングやライティングショーは、多くの市民や観光客に好評を博しました。また、スケートリンクや雪の滑り台などの体験型コーナーもたくさんの人で賑わいました。第2会場の「つどーむ会場」では、「遊び」をテーマに、チューブスライダーや氷のすべり台、雪の迷路広場など多数のアトラクションを展開し、市民のみならず、海外の観光客にも大いに楽しんでいただきました。観光客数は、232万7,000人となりました。

(URL) <https://www.snowfes.com/>



大雪像・北海道庁旧本庁舎～赤レンガ庁舎～©HBC北海道放送

【2025さっぽろ雪まつり（第75回）の開催概要】

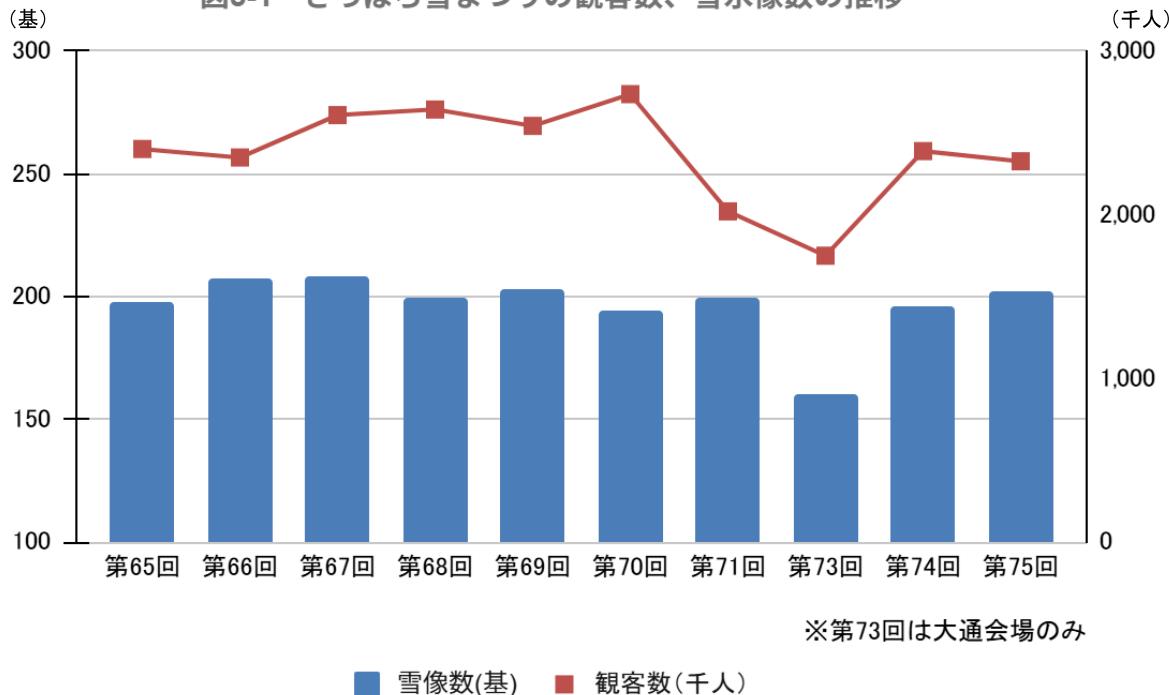
期間	大通会場 すすきの会場 つどーむ会場	令和7年2月4日（火）～11日（火・祝） 〔8日間〕
会場	大通会場 つどーむ会場 すすきの会場	大通西1～11丁目 ^{.....} 札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」 ^{.....} 駅前通（南4条～南7条） ^{.....}
行事等		<ul style="list-style-type: none">・ 開会式（大通西7丁目 2月4日）・ つどーむ会場開会式（つどーむ 2月4日）・ 市民雪像（80基）・ スノーオブジェコンテスト（つどーむ 2月4日）・ 国際雪像コンクール 参加9チーム（大通西11丁目）・ステージイベント（各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施）
雪氷像数	202基	（大雪像5基、中雪像21基、小雪像116基、氷像60基）
雪輸送量	10t トラックで2,471台分	（1月7日開始）

【観客数、雪氷像数の推移】

(新型コロナウイルスの影響で会場開催中止となった令和3年と令和4年を除く過去10年)

	第65回 (平成26年)	第66回 (平成27年)	第67回 (平成28年)	第68回 (平成29年)	第69回 (平成30年)	第70回 (平成31年)	第71回 (令和2年)	第73回 (令和5年)	第74回 (令和6年)	第75回 (令和7年)
雪氷像数(基)	198	207	208	200	203	194	200	160	196	202
観客数(千人)	2,402	2,350	2,609	2,643	2,543	2,737	2,021	1,750	2,389	2,327
大通	1,933	1,829	1,955	1,920	1,874	1,934	1,575	1,750	1,763	1,770
つどーむ	469	521	654	723	669	803	446	—	626	557

図5-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移



(2) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。

昭和34年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。昭和35年には、札幌市の人口50万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年5月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの解放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントです。

大通会場5丁目では、「野だて」をはじめとする各種文化行事に多くの市民や観光客が参加し、「らいらっく茶屋」や「書道体験」といった日本の文化体験を楽しむ訪日外国人観光客の姿も見られました。6丁目会場は、会場展開を一新し、市内人気カフェが

入れ替わりで出店する「りらテラスcafe」、焼きたてのパンを楽しめる「りらテラスベーカリー」などが賑わいを見せました。また、同会場のステージを利用して行われる「ライラックスプリングステージ2025」は、期間を通してミュージックライブやライラック吹奏楽祭を実施し、来場者を楽しませました。7丁目会場「ライラックワインガーデン2025」では、道内50社を超えるワイナリーの道産ワイン総計200種以上を提供し、会期を通して大きな賑わいを見せました。

このほか、川下会場（白石区川下公園）では、屋外で実施したライラックの苗木無料配布やライラックアートワークショップ、川下公園コンサートなどに多くの方が参加し、川下公園の多品種のライラックを堪能しました。

(URL) <https://www.sapporo.travel/lilacfes/>

【第66・67回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第66回（令和6年度）		第67回（令和7年度）	
会場	大通公園西5～7丁目	川下公園	大通公園西5～7丁目	川下公園
期間	令和6年5月15日(水) ～26日(日)	5月25日(土) ～26日(日)	令和7年5月14日(水) ～25日(日)	5月24日(土) ～25日(日)
行事等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、カフェ、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			

(3) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、平成4年にその感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれがソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競います。

令和7年度は、大通公園西8丁目を始めとする市内17会場で、270チーム、延べ27,000人の踊り子たちの臨場感あふれる熱演が繰り広げられ、会場を訪れた観客の数は211万人にのぼりました。

(URL) <https://www.yosakoi-soran.jp/>



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

【第33・34回 YOSAKOI ソーラン祭りの開催概要】

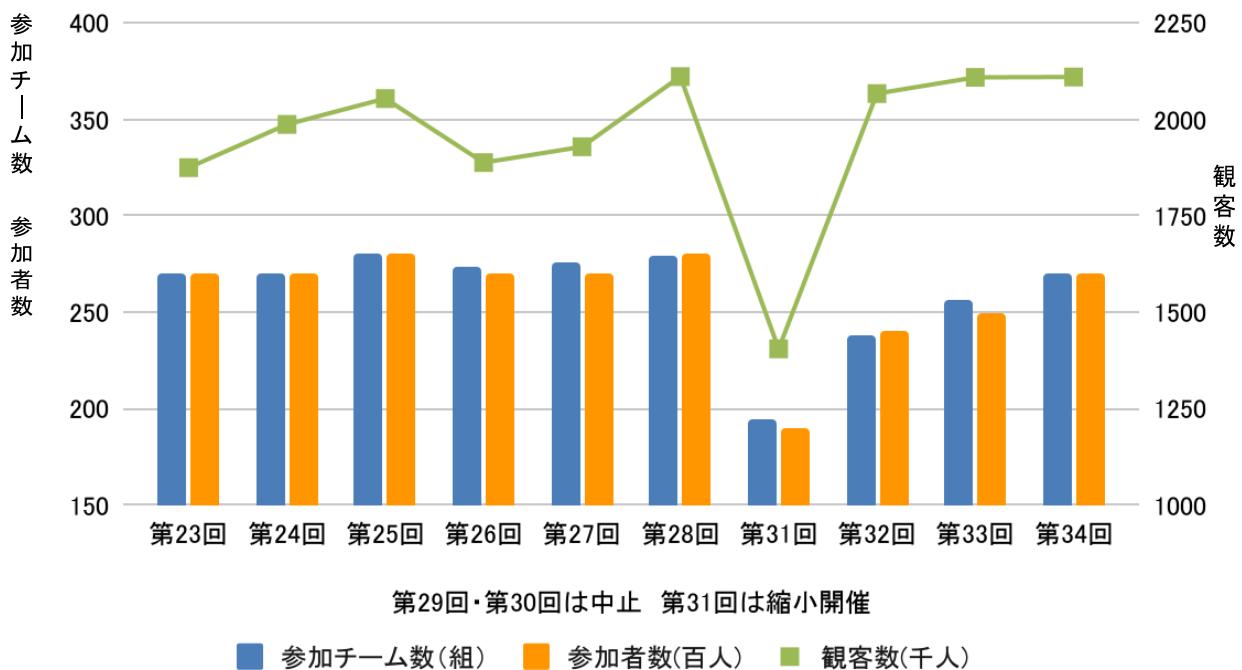
	第33回（令和6年度）		第34回（令和7年度）	
期間	令和6年6月5日(水)～9日(日)		令和7年6月4日(水)～8日(日)	
会場	大通公園を始めとする市内15会場		大通公園を始めとする市内17会場	
参加者	延べ25,000人	256チーム	延べ27,000人	270チーム
うち市内		60チーム		65チーム
道内		57チーム		67チーム
その他		139チーム		138チーム
観客数	2,109,000人		2,110,000人	

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移】

(新型コロナウィルスの影響で中止となった第29回と第30回を除く過去10年)

	第23回 (平成26年)	第24回 (平成27年)	第25回 (平成28年)	第26回 (平成29年)	第27回 (平成30年)	第28回 (令和元年)	第29回 (令和4年)	第30回 (令和5年)	第31回 (令和6年)	第32回 (令和6年)	第33回 (令和6年)	第34回 (令和7年)
参加チーム数	270	270	280	274	276	279	195	238	256	270	250	270
参加者(百人)	270	270	280	270	270	280	190	240	240	250	250	270
観客数(千人)	1,875	1,987	2,054	1,888	1,929	2,111	1,405	2,067	2,109	2,110	2,110	2,110

図5-2 YOSAKOIソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移



(4) さっぽろ夏まつり

昭和29年、新たな夏の観光名物の創出を目指して、それまで市内の各団体・地域が独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。

「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

このまつりは毎年7・8月に約1カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りなど、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです。

まつりの前半には、国内最大※の規模となる約10,000席が用意される「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」が開催され、各丁目ごとにテーマが異なるビアガーデンで多くの市民や国内外から訪れた観光客が、開放感を楽しめます。まつりの後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、今では海外からの観光客も増え、国際色豊かな盆踊りとしてぎわっています。

令和7年度は、会期中の真夏日が15日間を数えるなど、前年に比べて暑い日が多くなったため、ビール消費量は前年比で約109.1%となりました。

(URL) <https://www.sapporo.travel/summerfes/>

※2024年全会場座席数合計（さっぽろ夏まつり実行委員会調べ）



【第72回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：令和7年7月18日（金）～8月16日（土）〔30日間〕

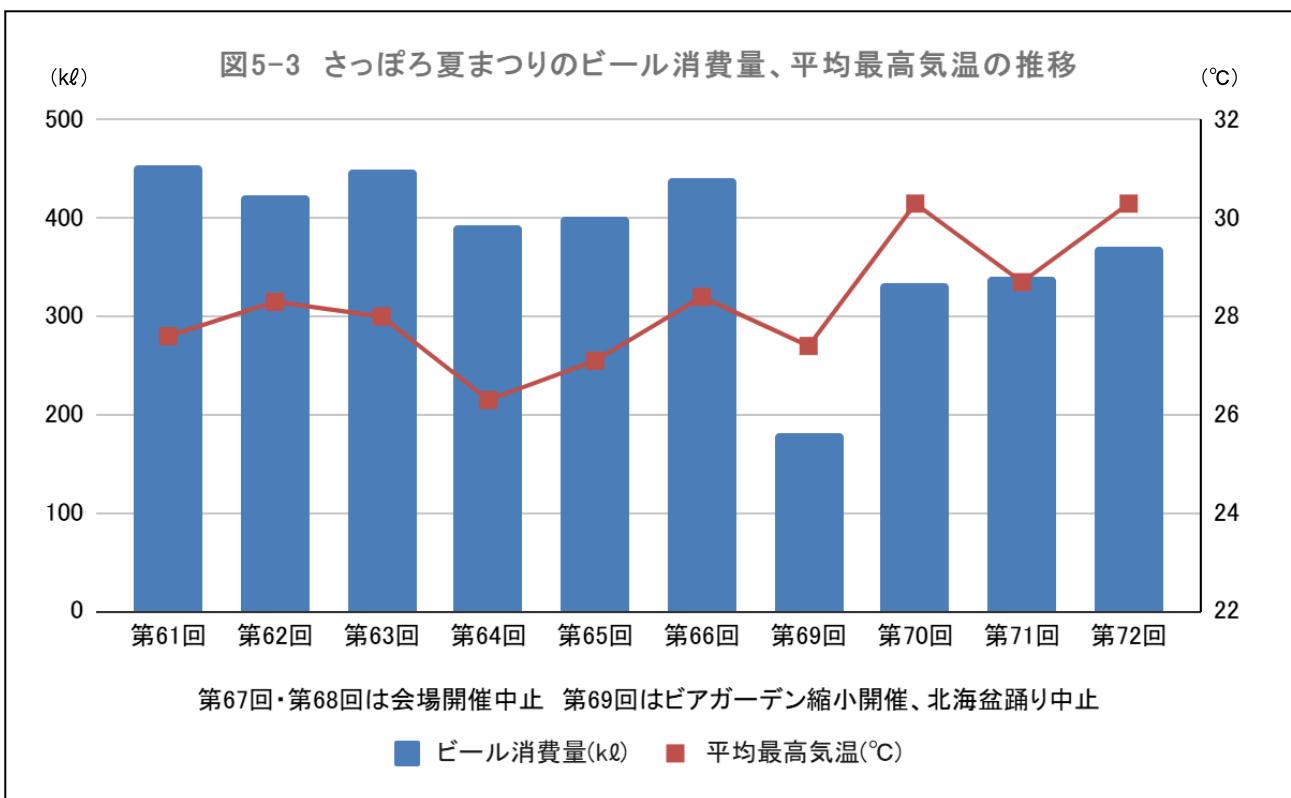
行事等

行事・会場	日程
大通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西4～8、10・11丁目)
	8月13日～8月16日
狸小路	第72回狸まつり
すすきの	第61回すすきの祭り

【ビール消費量、平均最高気温の推移】

（新型コロナウイルスの影響で会場開催中止となった第67回と第68回を除く過去10年）

	第61回 (平成26年)	第62回 (平成27年)	第63回 (平成28年)	第64回 (平成29年)	第65回 (平成30年)	第66回 (令和元年)	第69回 (令和4年)	第70回 (令和5年)	第71回 (令和6年)	第72回 (令和7年)
ビール消費量 (kℓ)	454	424	449	394	401	441	181	334	340	371
平均最高気温 (℃)	27.6	28.3	28.0	26.3	27.1	28.4	27.4	30.3	28.7	28.7



(5) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとして、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成20年からスタートしました。

令和7年度は、丁目毎に様々な特色を打ち出した旬のグルメを提供するほか、場内で使用される食器類は使い捨てのプラスチック素材を削減し、紙・木材などの素材、または洗浄し再利用するリターナブル食器とするなど、環境に配慮した取組を進めました。会期中は連日多くの市民や観光客で賑わい過去2番目の来場者数となりました。

(URL) <https://www.sapporo.travel/autumnfest/>



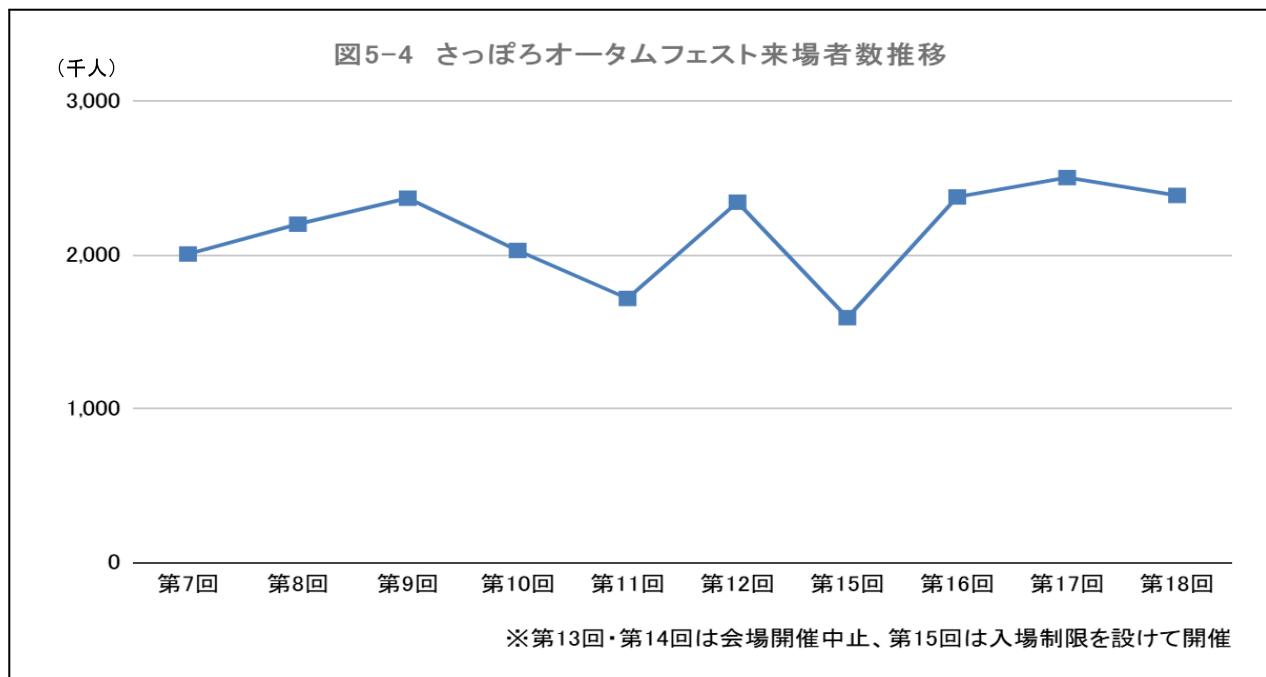
【2025さっぽろオータムフェストの開催概要】

期間	令和7年9月12日（金）～10月4日（土）〔23日間〕
会場	大通公園4丁目～8丁目、10丁目、11丁目
行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・IN4（インフォ）スクエア～オータムフェストの魅力大集合～（4丁目） ・北海道BAKU BAKU PARK（バクバクパーク）（5丁目） ・食と音楽 奏（かな）デリシャス！（6丁目） ・大通公園7丁目BAR（7丁目） ・さっぽろ大通ほっこいどう市場（8丁目） ・産地とあなたをつなぐ お肉じゅっ丁目（10丁目） ・PRECIOUS TABLE（プレシャステーブル）（11丁目）

【来場者数の推移（千人）】

(新型コロナウイルスの影響で会場開催中止となった第13回と第14回を除く過去10年)

第7回 (平成26年)	第8回 (平成27年)	第9回 (平成28年)	第10回 (平成29年)	第11回 (平成30年)	第12回 (令和元年)	第15回 (令和4年)	第16回 (令和5年)	第17回 (令和6年)	第18回 (令和7年)
2,009	2,203	2,372	2,032	1,720	2,346	1,574	2,380	2,506	2,390



(6) さっぽろ菊まつり

昭和30年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまで独自に行われていた小規模な同好会の活動が一本化され、昭和38年に全市的なイベントとして「さっぽろ菊花展」が誕生しました。第5回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。

また、昭和49年からは、札幌地下街を会場とする全国でも例のない屋内型の菊まつりとなり、札幌市の秋の恒例行事として定着しています。

(URL) <https://www.sapporo.travel/chrysanthemum-festival/>



【2024さっぽろ菊まつりの開催概要】

期間	令和6年11月1日（金）～11月3日（日・祝）〔3日間〕
会場	札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ） さっぽろ地下街オーロラタウン（オーロラスクエア）
行事等	菊花展
出展数	750点

(7) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和56年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園西2丁目のみを会場に1,048個の電球からスタートしました。

平成27年度から魅力向上を目的として3年間をかけて、リニューアルを行ない、平成29年10月には、「日本三大イルミネーション」に選出され、日本を代表するイルミネーションへと成長しました。

平成29年度には、札幌市北3条広場(アカプラ)、札幌駅南口駅前広場が新たに会場として加わり、現在は、5会場で実施しています。平成30年度には、チ・カ・ホの工事開始に伴い、中央分離帯への装飾を行っていなかった北大通から北3条間のイルミネーションを復活させ、JR札幌駅南口からすすきのまでの中心街全体が華やかに彩されました。

(URL) <https://www.sapporo.travel/white-illumination/>



【2024さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会期	大通会場 [大通西1～6丁目]	令和6年11月22日(金)～ 令和6年12月25日(水) 34日間
	駅前通会場 [北4条～南4条]	令和6年11月22日(金)～ 令和7年2月11日(火・祝) 82日間
	南一条通会場 [南1西1～西3] 札幌市北3条広場(アカプラ)会場 [北2条西4丁目、北3条西4丁目] 札幌駅南口駅前広場会場 [北5条西3丁目]	令和6年11月22日(金)～ 令和7年3月14日(金) 113日間
点灯時間	※大通会場・駅前通会場 16時30分～22時00分 (12月23日～25日は24時まで) ※南一条通会場 16時30分～22時00分 (12月21日～25日は24時まで) ※札幌市北3条広場(アカプラ)会場 16時30分～22時00分 ※札幌駅南口駅前広場会場 16時30分～24時00分	
総電球数	77万球	
行事等	イルミネーション点灯式(大通会場3丁目 11月22日)	

(8) ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

ミュンヘン市との姉妹都市提携30周年を迎えた平成14年から開催している「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は、ドイツの伝統行事であるクリスマス市を札幌に再現し、にぎわいと魅力のあふれる都心空間を創出することで、初冬における集客交流の促進を図ることを目的として開催しています。

国内外からの出店者によるドイツやクリスマスに関連するグッズや飲食物の販売を行うほか、クリスマスの雰囲気を盛り上げるステージイベントを開催し、令和6年度の来場者は過去2番目の約168万人を記録しました。

(URL) <https://www.sapporo.travel/white-illumination/event/munich/>



【2024ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoの開催概要】

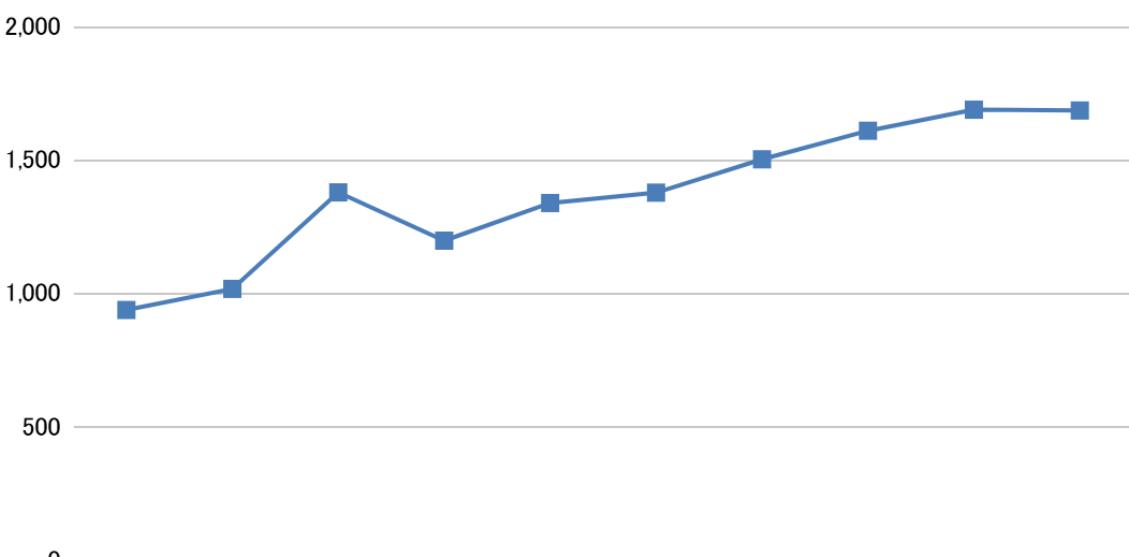
期間	令和6年11月22日（金）～12月25日（水）〔34日間〕
会場	大通公園2丁目
行事等	屋内外でドイツ文化発信、クリスマスの雰囲気醸成を目的としたワークショップや例年人気の高いプレゼントデーなどのステージイベントを、屋内24回、屋外61回実施し、会場を盛り上げました。

【来場者数の推移(千人)】

(新型コロナウィルスの影響で会場開催中止となった第19回と第20回を除く過去10年)

第12回 (平成25年)	第13回 (平成26年)	第14回 (平成27年)	第15回 (平成28年)	第16回 (平成29年)	第17回 (平成30年)	第18回 (令和元年)	第21回 (令和4年)	第22回 (令和5年)	第23回 (令和6年)
940	1,019	1,381	1,200	1,341	1,380	1,505	1,612	1,691	1,688

(千人) 図5-5 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo来場者数推移



(9) スマイルリンクさっぽろ

スマイルリンクさっぽろは、冬の札幌の新たな体験型及び夜間観光の促進、フィギュアスケート競技の裾野拡大とウインタースポーツに親しむ文化の醸造を目的として、令和4年度に初開催しました。都心にスケートリンクを設置し、一般開放のほか、スケートショーや子ども向けの体験教室などを実施します。

令和6年度は、会場を大通公園3丁目（さっぽろ雪まつり会場）へと移し、雪まつりとの一体的な賑わい創出を図りました。雪とイルミネーションとのコラボレーションによる幻想的な空間でスケート体験を提供するとともに、昨年度に引き続き雪遊び広場や氷のソファのフォトスポットなどのコンテンツを設置。連日多くの市民や観光客が訪れ、結果として前年度を超える滑走者数を記録しました。



【開催概要】

イベント名	スマイルリンクさっぽろ supported by 辛ラーメン
期間	令和7年2月1日（土）～2月11日（火）〔11日間〕
会場	さっぽろ雪まつり 大通3丁目会場
行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマイ尔斯ケートショー ・ スマイ尔斯ケート教室 ・ 一般開放
滑走者数	スケート滑走者数5,832人 ※令和5年開催時 4,432人

2 札幌でのMICE開催状況

(1) 国際会議開催件数（暦年）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
I C C A基準	25件	公表なし	公表なし	15件	17件	24件
J N T O基準	102件	2件	0件	23件	43件	—

(注) I C C A（国際会議協会）基準による国際会議開催件数とは、①国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため、民間企業以外は全て）が主催、②参加者総数が50名以上、③定期的に開催され（1回だけ開催されたものは除外される）、④3か国以上での会議持ち回りがある会議。

J N T O基準による国際会議開催件数とは、①国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て）が主催、②参加者総数が50名以上、③日本を含む3か国以上が参加、④開催期間が1日以上の会議。

(注) 2020年以降の国際会議開催件数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの。なお、各件数は遡及して修正されることがあり他の資料と異なることがある。

(注) J N T O基準での2024年の国際会議開催件数は令和7年10月時点で未公表。

都市別国際会議開催件数の推移

【I C C A基準（2023年）】

順位	都市名	件数	アジアアパシフィック圏順位
1位	東京	91	3位
2位	京都	41	10位
3位	大阪	20	23位
3位	横浜	20	23位
5位	札幌	17	30位
5位	福岡	17	30位
7位	仙台	15	34位
8位	神戸	12	39位
9位	名古屋	11	41位
10位	つくば地区	9	46位

【J N T O基準（2023年）】

順位	都市名	件数
1位	東京	311
2位	京都	172
3位	横浜	98
4位	福岡	79
5位	名古屋	62
5位	仙台	60
7位	神戸	54
8位	つくば地区	46
9位	大阪/北九州	45
11位	札幌	43

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（2024年度）

	大ホール	特別会議場	中ホール	小ホール	会議室(15室)
利用日（日）	192	140	204	168	243
稼働率(%)	82.4%	48.8%	73.9%	58.5%	84.7%

(注) 稼働率は、営業日数348日で計算。

(3) 札幌でのインセンティブツアー誘致・支援件数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
件数(件)	69	—	—	29	45	74
参加者総数(人)	10,079	—	—	2,339	7,010	10,784

(注) 札幌国際プラザ・コンベンションビューローが誘致又は支援した件数。

(注) 新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限があり、2020、2021年度は海外からのインセンティブツアーの受入れができなかったもの。

第6章 参考資料

1 観光施設の利用状況

(1) 主な観光施設利用者数

(単位：人)

施設名	2020年度※7	2021年度※7	2022年度	2023年度	2024年度	前年度 (%)
藻岩山（ロープウェイ、観光自動車道路）	384,078	356,632	678,654	727,810	886,464	21.8
円山動物園	506,602	369,194	737,444	865,610	816,236	▲ 5.7
モエレ沼公園	682,315	737,040	980,900	828,400	806,250	▲ 2.7
白い恋人パーク ※1	69,525	159,604	467,014	629,168	681,734	8.4
サッポロさとらんど	264,720	175,620	405,780	712,440	646,420	▲ 9.3
サッポロビール博物館	41,732	57,221	291,200	512,156	641,781	25.3
札幌市青少年科学館 ※5	116,429	166,254	161,232	0	594,744	-
滝野すずらん丘陵公園	259,444	238,025	436,056	472,686	514,462	8.8
羊ヶ丘展望台	222,607	200,289	451,951	478,263	500,931	4.7
テレビ塔展望台	90,560	154,874	330,890	442,648	497,183	12.3
札幌芸術の森	421,826	271,719	409,867	503,672	325,612	▲ 35.4
時計台	82,017	89,648	239,530	290,225	308,666	6.4
大倉山ジャンプ競技場	200,621	133,246	272,391	296,722	301,127	1.5
北海道大学総合博物館	60,773	72,513	187,353	206,169	251,738	22.1
JRタワー展望室 T 3 8	70,950	97,542	198,233	233,568	235,109	0.7
北海道立近代美術館	79,035	89,916	419,527	131,544	191,866	45.9
サンピアザ水族館	82,522	108,999	170,338	158,671	155,000	▲ 2.3
北海道開拓の村	54,429	40,414	120,247	130,905	137,210	4.8
札幌カルピックミュージアム ※2	101,604	60,933	89,461	114,706	117,754	2.7
札幌市水道記念館	11,643	8,284	50,819	96,746	96,473	▲ 0.3
豊平峡	47,194	41,160	30,659	61,453	63,060	2.6
札幌市下水道科学館	15,177	15,267	49,860	62,315	62,841	0.8
北海道立文学館	35,487	37,322	38,725	44,985	51,208	13.8
北海道大学植物園	6,996	12,394	35,595	57,517	50,917	▲ 11.5
豊平川さけ科学館	32,906	28,287	52,856	50,003	50,105	0.2
旧永山武四郎邸	28,325	19,277	46,156	47,551	40,959	▲ 13.9
豊平館	19,548	16,394	28,081	36,743	40,708	10.8
札幌市アイヌ文化交流センター	26,930	13,373	28,458	44,091	38,908	▲ 11.8
オートリゾート滝野	13,202	16,634	38,410	31,180	27,921	▲ 10.5
定山渓自然の村	10,392	12,056	13,953	19,575	18,887	▲ 3.5
本郷新記念札幌彫刻美術館	17,954	11,846	14,527	11,494	16,714	45.4
渡辺淳一文学館	4,804	8,626	15,103	14,781	15,600	5.5
雪印メグミルク 酪農と乳の歴史館 ※3	0	0	486	7,855	10,960	39.5
宮の森ジャンプ競技場	9,729	8,460	11,423	11,260	10,588	▲ 6.0
清華亭 ※4	2,804	1,953	5,616	535	10,419	1847.5
大和ハウスアーバンストリーム（札幌ドーム） (ドームシアター、展望台等利用者)	20,338	17,598	40,475	14,768	9,148	▲ 38.1
琴似屯田兵村兵屋跡	4,091	2,540	5,071	5,523	7,447	34.8
八窓庵	4,799	1,946	5,934	7,215	7,090	▲ 1.7
新琴似屯田兵中隊本部	1,416	731	2,810	2,891	3,008	4.0
札幌村郷土記念館	1,350	846	1,952	1,956	1,541	▲ 21.2
旧黒岩家住宅	1,572	506	1,001	1,120	1,291	15.3
札幌市公文書館	547	361	719	785	1,239	57.8
北海道庁旧本庁舎 ※6	13,090	0	0	0	0	-

- ※1 (白い恋人パーク) 2018年11月から2019年7月まで休館
 ※2 (オリンピックミュージアム) 2022年11月から2023年3月まで休館
 ※3 (酪農と乳の歴史観) 2020年2月から2023年1月まで休館
 ※4 (清華亭) 2023年5月から2024年4月まで休館
 ※5 (札幌市青少年科学館) 改修工事等のため、2022年8月から2024年3月まで休館
 ※6 (北海道庁旧本庁舎) 2019年10月から休館（2020年9月から2020年11月まで一部期間限定公開）
 ※7 2020、2021年度は新型コロナウイルスの影響により、多くの施設が臨時休館を実施

(2) 主な集客施設観客数

(単位：人)

施設名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度 (%)
札幌コンサートホールK i t a r a	28,861	135,470	256,767	295,558	317,982	7.6
札幌市民交流プラザ ※1	630,647	752,003	1,196,687	1,523,758	1,561,125	2.5
大和ハウス プレミストーム（札幌ドーム）	488,174	758,612	1,708,625	1,055,115	1,178,140	11.7

※1 札幌市民交流プラザは札幌市図書・情報館の来館者を含めた人数。

(3) スキー場リフト利用状況（リフト利用延べ人数）

(単位：千人)

スキー場名	2024シーズン 営業期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度比 (%)
サッポロテイネ	12/1～5/6	2,319	2,578	2,859	2,761	2,913	5.5
札幌国際	12/1～5/6	1,674	1,653	1,713	1,764	1,741	▲ 1.3
ばんけい	12/15～3/30	1,120	1,271	1,271	1,149	998	▲ 13.1
藻岩山	12/25～3/23	843	939	967	925	923	▲ 0.2
フizzスノーエリア	12/25～3/31	759	744	753	608	754	24.0
滝野スノーワールド	12/22～3/31	79	88	138	95	111	16.8
合計		6,794	7,274	7,702	7,302	7,440	1.9

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の累計値とは一致しない場合がある。

2 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・北海道さっぽろ観光案内所利用者数

(単位:人)

		2022年度	2023年度	2024年度	前年度比(%)
北海道さっぽろ「食と観光」情報館 入館者数（注）	合 計	718,413	1,160,029	1,432,214	23.5
	一日平均	3,031	3,789	3,923	3.5
北海道さっぽろ 観光案内所 利用者数	合 計	73,798	110,693	117,917	6.5
	一日平均	207	302	323	7.0
外国人利用者数 ※ 職員対応	合 計	13,293	35,138	37,545	6.9
外国人 利用者数 （国別内訳） ※ 職員対応	欧 米	1,842	6,671	6,997	4.9
	韓 国	3,434	6,984	6,861	▲ 1.8
	中 国	925	3,946	6,451	63.5
	台 湾	1,630	3,936	4,042	2.7
	シンガポール	1,214	3,093	3,004	▲ 2.9
	香 港	853	2,223	2,364	6.3
	タ イ	703	2,002	1,781	▲ 11.0
	オーストラリア (オセアニア)	588	1,498	1,655	10.5
	その他アジア	2,050	4,701	4,337	▲ 7.7
	その他の その他	54	84	53	▲ 36.9

※所在地

- ・北海道さっぽろ「食と観光」情報館
札幌市北区北6条西4丁目 J R札幌駅西コンコース
- ・北海道さっぽろ観光案内所
北海道さっぽろ「食と観光」情報館内

(注) 2023年度の入館者数は、計測機器の故障により2024.2~3月分を除いた数値となっている。

3 気象概況

(札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計)

年	気温 (°C)			日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)	寒暖日数1)			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年2)	9.2	-	-	1,718.0	1,146.1	479	8.6	54.6	121.8	43.6
10年平均3)	10.0	34.3	-12.1	1,865.1	1,112.3	414	14.8	67.8	112.8	40.7
2015年	10.0	34.5	-10.1	1,813.0	1,274.5	355	6	57	103	20
2016年	9.3	31.9	-10.9	1,818.5	1,360.0	519	11	64	127	53
2017年	9.1	34.9	-12.8	1,819.9	1,158.0	435	7	60	127	51
2018年	9.5	33.9	-12.7	1,741.6	1,282.0	425	8	50	115	47
2019年	9.8	34.2	-13.1	1,987.7	814.0	309	18	62	124	45
2020年	10.0	34.3	-14.9	1,764.3	905.0	398	12	69	102	34
2021年	10.2	35.1	-12.6	2,049.0	1,089.0	380	27	68	101	42
2022年	10.2	32.9	-10.4	1,847.8	1,154.0	465	10	71	106	33
2023年	11.0	36.3	-13.2	1,889.6	966.0	359	30	91	102	45
2024年	10.5	34.7	-10.6	1,919.5	1,120.0	499	19	86	121	37
2024年1月	-1.8	5.4	-10.6	81	153.5	161	0	0	31	9
2月	-1.9	13.9	-9	127.6	117.0	151	0	0	27	11
3月	0.8	11.8	-8.3	181.7	67.5	69	0	0	25	3
4月	10.4	27.9	0.5	206.9	34.5	1	0	2	0	0
5月	14.2	25.1	3.9	214.6	40.0	0	0	1	0	0
6月	19	31.3	10.5	202.4	38.0	0	2	14	0	0
7月	23.3	34.7	13.9	190.9	144.0	0	8	25	0	0
8月	24.6	34.1	18.2	133.7	102.5	0	8	29	0	0
9月	19.9	31.5	10	212.3	74.5	0	1	14	0	0
10月	13.8	26.3	2.8	178.4	160.0	0	0	1	0	0
11月	6	15.7	-3	98.7	134.0	35	0	0	7	0
12月	-1.9	8.3	-8.4	91.3	54.5	82	0	0	31	14

1)真夏日とは最高気温が30.0°C以上の日、夏日とは最高気温が25.0°C以上の日、冬日とは最低気温が0.0°C未満の日、真冬日とは最高気温が0.0°C未満の日をいう。

2)1991年から2020年までの30年間の平均値。

3)2015年から2024年までの10年間の平均値。

4 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正11(1922)年度	市制施行。
昭和 2 (1927) 年度	公会堂として豊平館新館完成。
6 (1931) 年度	大倉山シャンツエ竣工。
11 (1936) 年度	札幌観光協会設立。
12 (1937) 年度	札幌一東京間定期航空開始。
21 (1946) 年度	定山渓觀光協会設立。
24 (1949) 年度	第1回さっぽろ雪まつり開催。
26 (1951) 年度	円山動物園開園。
28 (1953) 年度	札幌一千歳間（国道36号線）弾丸道路舗装完成。
29 (1954) 年度	第1回さっぽろ夏まつり、第1回狸まつり開催。
32 (1957) 年度	テレビ塔完成。藻岩山觀光自動車道完成。
33 (1958) 年度	もいわ山ロープウェイ営業開始。豊平館、中島公園内に移築。
34 (1959) 年度	第1回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。さっぽろ夏まつりのビアガーデンを初めて開催。
35 (1960) 年度	市民の投票により札幌の花（スズラン）、木（ライラック）、鳥（カッコウ）を決定。
38 (1963) 年度	第1回さっぽろ菊まつり開催。
40 (1965) 年度	第1回定山渓かつぱ祭り開催。第1回すすきの祭り開催。
45 (1970) 年度	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46 (1971) 年度	第11回冬季オリンピック大会開催。北海道開拓記念館オープン。
47 (1972) 年度	政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48 (1973) 年度	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
53 (1978) 年度	「札幌の観光（観光白書）」発行開始。「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。緑のセンター開設。
54 (1979) 年度	25年ぶりに豊平川にサケ遡上。冬のスポーツ博物館オープン（～平成11年12月）。
55 (1980) 年度	瀬陽市と友好都市提携調印。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56 (1981) 年度	青少年科学館オープン。第1回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58 (1983) 年度	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59 (1984) 年度	第1回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
60 (1985) 年度	第1回アジア冬季競技大会開催。「国際観光モデル地区」の指定を受ける。
61 (1986) 年度	'86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62 (1987) 年度	第1回さっぽろ国際フェスティバル開催。サッポロビール博物館オープン。
平成元(1989) 年度	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。定山渓ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」（現カンガルー館）オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2 (1990) 年度	ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）初開催。「観光基本計画」策定。ユニバーシアード冬季大会開催。定山渓に「メルヘンかつぱ像」20体設置。

年 度	沿 革
3(1991)年度	第1回定山渓もみじ大茶会開催。
4(1992)年度	政令指定都市移行20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山渓観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろのタベ」(～平成15年度)初開催。第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。
5(1993)年度	大通公園(8-9丁目)連続化。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6(1994)年度	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンクエージ・アップフェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7(1995)年度	円山動物園にキッドランドと熱帯鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOIソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8(1996)年度	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」オープン。定山渓温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞特別賞」受賞。青少年科学館リニューアルオープン。
9(1997)年度	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年度	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山渓自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりビアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年度	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘エディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえーる)オープン。
12(2000)年度	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。 札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年度	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年度	2002FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo開催。札幌駅南口にJRタワーオープン(平成15年3月)。札幌コンベンションセンター竣工。
15(2003)年度	札幌コンベンションセンターオープン。
16(2004)年度	さっぽろ赤レンガカフェ(～平成19年度)、さっぽろら~めん共和国、千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。「ようこそさっぽろ」のホームページ開設。
17(2005)年度	さっぽろライラックまつりで「ライラックワインガーデン」開催。第1回藻岩山の日。モエレ沼公園グランドオーブン。定山渓温泉公園オープン。サッポロさとらんどがさっぽろ雪まつりの第2会場に。
18(2006)年度	ノリアオープン。さっぽろスイーツのコンペティションスタート。藻岩山にて、BAR THE ICE開催。FISノルディックスキー世界選手権札幌大会開催。北海道さっぽろ「食と観光」情報館オープン。
19(2007)年度	平岡公園の梅林ライトアップ事業実施(～平成22年度)。「SAPPORO CITY JAZZ」初開催。観光文化情報ステーションオープン。さっぽろ雪まつり大通会場にスケートリンク設置。
20(2008)年度	北海道洞爺湖サミット開催。さっぽろオータムフェスト初開催。観光立国の推進体制強化を目的に観光庁発足。つどーむがさっぽろ雪まつり第2会場に。
21(2009)年度	さっぽろ広域観光圏認定。中国人個人観光客への査証発給開始。新千歳空港国際線旅客ターミナルオープン。

年 度	沿 革
22(2010)年度	東日本大震災発生。大田（テジョン）広域市と姉妹都市提携調印。札幌M I C E 総合戦略策定。札幌駅前通地下歩行空間開通。札幌ウィンタースポーツ ミュージアムリニューアルオープン。羽田空港の国際線拡大、国際定期便運行開始。A-netが丘珠空港から撤退。H A Cの再編が行われる。劇団四季劇場オープン。大通ビッセオーブン。
23(2011)年度	道東道の夕張～占冠間が開通し十勝圏へのアクセスが向上、藻岩山展望台・ロープウェイがリニューアルオープン、札幌シニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート認定、新千歳空港にピーチ・アビエーションが就航、創成川公園オープン、菊まつりのメイン会場を札幌駅前通地下歩行空間へ変更、札幌モーターショー2012開催、第1回真駒内花火大会開催
24(2012)年度	ミシュランガイド北海道2012版発売、新千歳空港にジェットスター、エアアジアが就航、新千歳空港とタイ、ハワイの直行便が就航、「札幌いんふぉ」リリース、どうぎんカーリングスタジアムオープン、北海道日本ハムファイターズのパレードが開催、円山動物園アジアゾーンオープン、円山動物園に双子の白くまが生まれる
25(2013)年度	訪日外客数が初めて1,000万人を突破、新千歳空港にティーウェイ航空が就航、丘珠空港に初のジェット機発着、札幌市内外国人宿泊者数が100万人を突破し過去最多、札幌のプロモーションとしてタイでエアポート・トレインのラッピングを実施
26(2014)年度	訪日外客数が1,300万人を突破、札幌市内外国人宿泊者数が140万人を突破し過去最多、道庁赤れんが庁舎前の北3条広場にてフラワーカーペットを開催、シンガポール市内を走行するバスに初音ミクを起用したラッピング広告を実施
27(2015)年度	訪日外客数が初めて、2,000万人を突破、札幌市内外国人宿泊者数が190万人を突破し過去最多、さっぽろ雪まつりつどーむ会場及びさっぽろオータムフェストの開催期間を7日間延長、プレミアム付き旅行券の発行、Sapporo City Wi-Fiの開設、「日本新三大夜景都市」に長崎市・神戸市とともに札幌市が認定
28(2016)年度	札幌市内外国人宿泊者数が200万人を突破し過去最多、8月に3つの台風が北海道に上陸、新千歳空港と韓国・中国・シンガポールの直行便が就航、ホワイトイルミネーションの会場を大通8丁目まで延長、大雪による影響で12月の新千歳空港の欠航便数が過去最多、サッポロビール博物館リニューアルオープン
29(2017)年度	来札観光客数が過去最多となる1,500万人を突破し、札幌市内外国人宿泊者数も過去最多となる250万人を突破、ミシュランガイド北海道2017版発売、国道274号（日勝峠）の通行止めが10月に解除、台湾高雄市と観光交流に関する覚書を締結、さっぽろホワイトイルミネーションが日本三大イルミネーションに認定
30(2018)年度	6月に住宅宿泊事業法施行により民泊制度が開始、9月に北海道胆振東部地震が発生、「日本新三大夜景都市」に再認定
令和元(2019)年度	「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」の札幌開催。日韓関係の冷え込みや新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大により、来札観光客数が5年ぶりに減少し、外国人宿泊者数も8年ぶりの減少。
2 (2020)年度	新型コロナウイルス感染症の全世界的な感染拡大により、国内外の旅行需要が停滞した結果、来札観光客数、外国人宿泊者数は調査開始以来最少を記録。

年 度	沿 革
3 (2021)年度	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が1年延期となって開催され、札幌では、市内中心部でマラソン・競歩、札幌ドームでサッカーを開催。夜景サミット2022を札幌で開催し、「日本新三大夜景都市」、「日本三大イルミネーション」に再認定
4 (2022)年度	ライラックまつりや雪まつりなど、各種イベントの会場開催が再開。6月には外国人の団体旅行など観光目的の入国について受入を再開したほか、10月には外国人の個人旅行が解禁されるなど、新型コロナウイルス感染症に伴う入国制限が緩和された。
5 (2023)年度	5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法で定める「5類感染症」へ移行となり行動制限が撤廃されたほか、7～8月にかけてインターハイが開催された。
6 (2024)年度	円山動物園に「オランウータンとボルネオの森」がオープン。中島公園紅葉ライトイアップ初開催。定山渓に新たな足湯、四季のせせらぎ「二見の足湯」がオープン。eスポーツの世界大会「Apex Legends Global Series (ALGS) Championship」が大和ハウス プレミストドームでアジア初開催。総観光消費額が過去最高を記録。

5 令和6年度イベントカレンダー ※中止となったイベントは例年の内容や計画時の内容を記載

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
4月	第38回定山渓温泉渓流 鯉のぼり	4月1日（月）～ 5月12日（日）	定山渓の渓流に約400匹の鯉のぼりを掲揚する定山渓温泉の春の風物詩。	定山渓平川 上空ほか	定山渓観光協会 011-598-2012
	平岡公園梅まつり2024	4月27日（土）～ 5月12日（日）	梅の名所として有名な平岡公園で、梅の開花時期に合わせて開催されます。梅にちなんだ商品が多数販売される特設臨時売店などが出店されます。	平岡公園梅林	平岡公園管理事務所 011-881-7924
5月	札幌ラーメンショー 2024	【第1幕】 5月13日（月）～19日（日） 【第2幕】 5月21日（火）～26日（日）	全国のラーメン有名店が出店するイベント。	大通公園（西8丁目）	実行委員会 011-753-9640
	さっぽろライラックまつり	大通会場（大通公園5丁目～7丁目） ：5月15日（水）～26日（日） 川下会場（川下公園） ：5月25日（土）～26日（日）	「大通会場」では、ライラック音楽祭、ワインガーデン、スタンプラリー、「川下会場」では、ライラックツアーや川下公園コンサートなど、各会場でさまざまなイベントが行われます。	大通公園・川下公園	実行委員会 011-281-6400
	第47回北海道を歩こう	5月19日（日）	札幌市南区真駒内中学校からスタートするウォーキングイベント。支笏湖～支笏湖ボロピナイまでの33kmコース、真駒内～真駒内カントリークラブまでの10kmコース、真駒内～札幌芸術の森までの6kmコースの3コースが楽しめる。	真駒内中学校	さっぽろ健康スポーツ財団 011-530-5562
	もいわ山の日	5月30日（木）～ 6月2日（日）	標高531mにちなみ、5月31日を含む数日間、多彩なイベントを開催します。	藻岩山	札幌もいわ山ロープウェイ 011-561-8177
6月	JOZANKEI NATURE LUMINARIE	6月1日（土）～ 10月31日（木）	自然と共に創するイルミネーションで繰り広げられるイベント。森と水の守り神「河童」が棲む神秘の森へと誘う物語が始まります。定山渓エリアの宿泊者専用プレミアムイベントとして開催。	定山渓二見公園	定山渓観光協会 011-598-2012
	YOSAKOIソーラン祭り	6月5日（水）～ 9日（日）	鳴子を手にした色鮮やかな衣装の踊り子たちが、ソーラン節に合わせて躍動。大通公園を中心に、約3万人の踊り子が市内各所を舞台に演舞します。	大通公園ほか	組織委員会 011-231-4351
	北海道神宮例祭 (札幌まつり)	6月14日（金）～ 16日（日）	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭り。「郷土の日」を実感する通称「札幌まつり」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮 011-611-0261
	サッポロフラワーカーペット2024	6月28日（金）～ 30日（日）	札幌市北3条広場において、北海道の花や自然素材等を利用して、一般参加者とともに色鮮やかなフラワーカーペットを制作します。	札幌市北3条広場	札幌駅前通まちづくり会社 011-211-6406
	花フェスタ2024札幌	6月22日（土）～ 30日（日）	農業高校生のガーデニングコンテストや、花き、園芸関連用品を販売する花市場などで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	運営事務局 011-241-2314
7月	北海道真駒内花火大会	7月6日（土）	22,000発以上の花火と照明・炎を、音楽とシンクロさせた花火大会。北海道内を中心とした人気店が多数出店します。小学生以上有料。	真駒内セキスイハイムスタジアム	実行委員会 011-841-8166
	四番街まつり2023	7月7日（日）	札幌駅前通スクランブル交差点での「ステージパフォーマンス」、中央分離帯での縁日など、四番街商店街でゆったり楽しめる2日間のお祭りイベント。	札幌駅前通（南大通～南4条 歩行者天国内）	札幌四番街商店街振興組合事務局 011-231-5475

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
7月	PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）2024	7月10日（水）～30日（火）	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際教育音楽祭。ピクニックコンサートでは野外でクラシックを楽しめます。	コンサートホールKitara、芸術の森ほか	組織委員会011-242-2211
	SAPPORO CITY JAZZ 2024パークジャズライブ	7月13日（土）～14日（日）	市内各所でプロ・アマのバンドによる無料ライブを開催します。	市内各所	実行委員会011-592-4125
	カルチャーナイト2024	7月19日（金）	札幌市内の公共・文化施設、企業施設の夜間開放とYouTube動画配信。参加施設・団体は、それぞれの専門分野や特色を生かしたプログラムを展開し、参加者に地域文化を楽しんでもらいます。	—	実行委員会011-261-8633
	さっぽろ夏まつり	7月19日（金）～8月16日（金）	国内最大級のビアガーデンや北海盆踊りなど、札幌の夏が楽しめる様々なイベントを実施。	大通公園	実行委員会011-281-6400
	第71回狸まつり	7月19日（金）～8月16日（金）	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、歴史ある狸小路商店街の夏まつり。まつり期間中は、アーケードの装飾や商店街関係者による式典を開催。	狸小路商店街	商店街振興組合011-241-5125
	札幌演劇シーズン2024	7月13日（土）～8月31日（土）	札幌で過去に上演され高い評価を獲得した、いわば「面白さ保証付き」の作品を集め、1か月間、連日公演を行います。初めて演劇を見る方にもお勧めです。	市内劇場	実行委員会011-221-2073
	2024道新・UHB花火大会	7月26日（金）	スターマイン、打ち上げ花火など約4,000発を打ち上げる花火大会。	豊平川南大橋～幌平橋間	北海道新聞社事業センター011-210-5733
	さっぽろ八月祭2024	7月26日（金）～27日（土）	札幌駅前通地区の新しいお祭り。盆踊りや餅まき、縁日などのイベントが盛りだくさん。	札幌市北3条広場	札幌駅前通まちづくり株式会社011-211-6406
	第21回札幌市長杯荒井山ジュニアサマージャンプ大会	7月30日（火）	小中学生によるサマージャンプ競技を観戦することができます。	荒井山シャンツェ	札幌スキー連盟011-221-1661
8月	第60回すすきの祭り	8月1日（木）～3日（土）	すすきの屋台、花魁道中、みこし渡御など、すすきのが一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会011-518-2005
	第42回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	8月2日（金）	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	宮の森ジャンプ競技場	札幌スキー連盟011-221-1661
	第25回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	8月3日（土）	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	大倉山ジャンプ競技場	札幌スキー連盟011-221-1661
	環境広場さっぽろ2024	8月24日（土）～25日（日）	事業者・市民団体・行政機関等が日ごろの環境への取組、環境技術や商品の紹介を通じて、来場者の環境意識を醸成するイベントです。	大和ハウスプレミストドーム	事務局011-200-5566
	北海道マラソン2024	8月25日（日）	国内外の招待選手を含めた総勢1万人を超えるランナーが札幌市内各地を激走します。夏季では国内最大級のマラソン大会であり、多くの一般ランナーが参加する大イベントです。	大通公園発着	北海道マラソン事務局011-232-0840
9月	北海道芸術花火	9月7日（土）	平成24年に始まった花火大会。花火と音楽のコラボレーションが見どころです。	モエレ沼公園	事務局011-375-7271

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
9月	さっぽろオータムフェスト	9月6日（金）～9月29日（日）	北海道・札幌の食をメインテーマに開催される食の祭典。会場ごとにコンセプトが設けられ、道内各地から旬の素材、ご当地グルメが一同に取り揃えられます。	大通公園	実行委員会 011-281-6400
	No Maps 2024	9月11日（水）～15日（日）	ビジネス・文化・エンタメ・生活スタイル・コミュニティなど、多様な切り口から多数の無料セッションを展開予定です。	—	実行委員会 011-812-2000
	第31回「鉄道の日」記念イベント 鉄道フェスティバル in 北海道	9月21日（土）	札幌市営地下鉄や路面電車をはじめ、北海道内の鉄道事業者、ロープウェイなどのブースが集結。グッズ販売、北海道新幹線H5系ふわふわ、ステージイベント等を行います。	札幌市北3条広場「アカプラ」	「鉄道の日」北海道実行員会 011-290-2731
10月	第49回札幌マラソン	10月6日（日）	ハーフマラソン、10km、車イス5km、ファンペア3km、2kmなど、多彩な種目で気軽に楽しむことができます。	真駒内セキスイハイムスタジアム周辺	さっぽろ健康スポーツ財団 011-530-5562
	中島公園紅葉ライトアップ事業	10月25日（金）～11月3日（日）	札幌の中心部、中島公園で初開催となる紅葉のライトアップイベントです。夜間特別開放やキッチンカーなども出店します。	中島公園	札幌商工会議所国際・観光部国際交流・観光課 011-231-1330
	第19回札幌国際短編映画祭	10月11日（金）～14日（月・祝）	世界中から作品が集結する国内最大級の国際短編映画祭です。1プログラム（5～8本の短編映画）を90分で観られる他、短編映画のマーケットやセミナーなども開催します。	サツゲキ	実行委員会 011-817-8924
11月	さっぽろ菊まつり	11月1日（金）～3日（日）	愛好家たちが丹精込めて育てた多数の菊が出品され、花の大きさや美しさを競う、道内最大級の菊の祭典。色とりどりの花が会場を飾り、行き交う人々の心を彩ります。	市内各所	実行委員会 011-281-6400
	さっぽろアートステージ2024	11月1日（金）～30日（土）	札幌市の芸術文化月間と位置付け、美術作品の展示、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会 011-281-7117
	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	11月22日（金）～12月25日（水）	姉妹都市のドイツ・ミュンヘン市でクリスマスに開催している伝統的なイベントを大通会場に再現。クリスマスの雰囲気を感じながらホットワインなどのドイツの味覚や雑貨を楽しめます。	大通公園2丁目	実行委員会 011-281-6400
12月	さっぽろホワイトイルミネーション	[大通会場] 11月22日（金）～12月25日（水） [駅前通会場] 11月22日（金）～2025年2月11日（火・祝） [札幌駅南口駅前広場会場・札幌市北3条広場（アカプラ）会場] [南1条通会場] 11月22日（金）～2025年3月14日（金）	色とりどりの電飾が市内中心部を彩る冬の風物詩として定着したイルミネーション。メインオブジェ、立木装飾など、幻想的なイルミネーションが、大通公園、札幌駅前通、札幌駅南口、札幌市北3条広場（アカプラ）、南一条通を鮮やかに彩ります。	大通公園 札幌駅前通 札幌駅南口 札幌市北3条広場（アカプラ） 南一条通	実行委員会 011-281-6400
	SAPPORO CITY JAZZ (サッポロ・シティ・ジャズ) 2023 THEATER JAZZ LIVE & 教育普及プログラム	12月5日（木）～10日（火）	プロミュージシャンによる本格的なジャズの演奏を飲食とともにお楽しみいただける「シアタージャズライブ」などのコンサートを開催します。	札幌市民交流プラザ	実行委員会 011-592-4125
1月	定山渓温泉雪灯路2024	1月25日（土）～2月1日（土）	定山渓神社を舞台に、スノーキャンドルによる幻想的で温かな灯かりと、定山渓ネイチャー・ルミナリエの冬版の「祈りの森」で、雪の夜を演出します。	定山渓神社	定山渓観光協会 011-598-2012

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
2月	スマイルリンクさっぽろ	2月1日（土）～11日（火・祝）	市中心部の札幌市北3条広場（アカプラ）にて本格スケートリンクが期間限定で開設。誰でも気軽にスケート体験ができます。夜にはホワイトイルミネーションとコラボレーションした幻想的な空間を楽しむことができ、雪遊びも楽しめます。	札幌市北3条広場（アカプラ）	実行委員会 011-214-5241
	さっぽろ雪まつり	[大通会場] 2月4日（火）～ 2月11日（火・祝） [つどーむ会場] 2月4日（火）～ 2月11日（火・祝）	今や世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。大小合わせて約200基の雪氷像が、大通公園やすすきのの会場で堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園・すすきの・つどーむ	実行委員会 011-281-6400
	第45回札幌国際スキーマラソン	2月2日（日）	スキーマラソンから歩くスキーまで、様々な種目があり、世代を問わず参加できる大会です。	白旗山競技場周辺	さっぽろ健康スポーツ財団 011-530-5562

本書は、札幌市ホームページ内の「観光統計データ」
(<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>)
で公開されます。

令和7年度版 札幌の観光
令和7年12月発行

市政等資料番号 01-H02-25-2473

編集・発行 札幌市経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL (011) 211-2376

SAPP_RO